

第三十回 衆議院議事速記錄第十四號

大正二年三月二十四日(月曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十五號 大正二年三月二十四日

午後一時開議

- 第一 刑事略式手續法案(政府提出費) 第一讀會
第二 右讀案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
第三 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル 第一讀會ノ續(委員長報告)
第四 運河法案(本院提出費) 第一讀會
第五 質屋取締法中改正法律案(岡田榮君外) 第一讀會
第六 日本勸業銀行法中改正法律案(水間此農) 第一讀會
第七 關稅定率法中改正法律案(岡崎久次郎君) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第八 登錄稅法中改正法律案(高木正年君) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第九 蠶絲業法中改正法律案(西谷金藏君) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十 辯護士法改正法律案(岡田榮君) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第十一 朝鮮總督府裁判所令改正ニ關スル建議案(岡田榮) 第一讀會
第十二 復古功臣前功表彰ニ關スル建議案(武富時敬君) 第一讀會
第十三 織物消費稅徵收猶豫ノ擔保ニ關スル建議案(小林源藏君) 第一讀會
第十四 鐵道國有法廢止ニ關スル建議案(江副靖臣) 第一讀會
第十五 和服ノ制限ニ關スル建議案(江副靖臣) 第一讀會
第十六 日華聯絡航路開始ニ關スル建議案(江副靖臣) 第一讀會
第十七 明治節節設定ニ關スル建議案(松田源治君外) 第一讀會
第十八 撫養港改築ニ關スル建議案(大久保升太郎) 第一讀會
第十九 醫術開業試驗ニ關スル建議案(濱田政壯君) 第一讀會
第二十 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外) 第一讀會
第二十一 鐵道建設ニ關スル建議案(川原茂輔君) 第一讀會
第二十二 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外) 第一讀會

第二十三

戰死者及戰病死者ヲ地方神社ヘ合祀ニ關スル建議案(米田穰君外)

(委員長報告)

第二十四

羽越沿岸鐵道建設ニ關スル建議案(佐藤信古)

(委員長報告)

第二十五

上越鐵道建設ニ關スル建議案(加藤勝彌君)

(委員長報告)

第二十六

信越河東鐵道建設ニ關スル建議案(加藤勝彌君)

(委員長報告)

第二十七

(特別報告第六十九號)滿鮮方面輸出花蕊檢査所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十八

(特別報告第六十一號)信濃阿賀二大川治水ノ請願

(委員長報告)

第二十九

(特別報告第六十二號)賣藥規則改正ノ請願

(委員長報告)

第三十

(特別報告第六十三號)賣藥稅法改正ノ請願

(委員長報告)

第三十一

(特別報告第六十四號)大村區裁判所管轄區域變更ノ請願

(委員長報告)

第三十二

(特別報告第六十五號)旭川區裁判所下富良野出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第三十三

(特別報告第六十六號)廣丘村停車場新設ノ請願

(委員長報告)

第三十四

(特別報告第六十七號)釧路美幌間鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第三十五

(特別報告第六十八號)糸魚川松本間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第三十六

(特別報告第六十九號)福島市中村町間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第三十七

(特別報告第七十號)膽振鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第三十八

(特別報告第七十一號)長井荒砥間輕便鐵道速成ノ請願

(委員長報告)

第三十九

(特別報告第七十二號)湧別上頓別間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第四十

(特別報告第七十三號)野波村郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十一

(特別報告第七十四號)都賀行村郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十二

(特別報告第七十五號)三澤村郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十三

(特別報告第七十六號)比樂島村郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 本日ハ常例ノ會議日デハゴザイマセヌケレドモ、會期切迫ニ付
キマシテ開會致シマシタ次第デアリマス、諸般ノ報告ヲ致サセマス
(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

質屋取締法中改正法律案

提出者 岡田 榮君 高橋 直治君 岩崎 總十郎君

鐵道國有法廢止ニ關スル建議案

提出者 江副 靖臣君

和服ノ制限ニ關スル建議案

提出者 江副 靖臣君

日華聯絡航路設置ニ關スル建議案

提出者 江副 靖臣君

明治節設定ニ關スル建議案

提出者 松田 源治君 翠川 鐵三君 望月 圭介君

菅 原 傳君 三土 忠造君 粕谷 義三君

高木 益太郎君 清水 仁三郎君 八田 裕二郎君

石橋 爲之助君 三輪 信次郎君 小泉 又次郎君

柵瀬軍之佐君 小河 源一君

撫養港改築ニ關スル建議案

提出者 大久保 弁太郎君 川真田 德三郎君

醫術開業試驗ニ關スル建議案

提出者 濱田 政壯君 瀨戶山 清彦君 若杉 喜三郎君

丸尾 光春君 八木 逸郎君

日本勸業銀行法中改正法律案

提出者 水間 此農夫君

海警調査機關設置ニ關スル建議案

提出者 小西 和君

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

提出者 請願委員長 植 場 平君

取引所制度調査機關設置ニ關スル建議案

提出者 小泉 策太郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

露領沿海州ノ漁業ニ關スル質問

提出者 小西 和君

勸業債券ニ關スル質問

提出者 森 茂生君

米穀株式取引所ノ仲買人取締ニ關スル質問

提出者 加賀 卯之吉君

宗教ニ關スル質問

提出者 高柳 覺太郎君

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
民事訴訟法施行條例中改正法律案(本院提出)
又左ノ議案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領
セリ

刑法施行法中改正法律案(本院提出)

一政府ヨリ提出セラレタル答辯書左ノ如シ

陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質問(水越陸軍大臣)

移民ニ關スル質問(牧野外務大臣)

米穀其他取引所ニ關スル質問(山本農商務大臣)

衆議院議員田川大吉郎君提出陸軍壯丁ノ體格不良ノ傾向ニ關スル質問ニ對シ
別紙答辯書差進候

大正二年三月二十二日

衆議院議長大岡育造殿

內閣總理大臣伯爵山本權兵衛

(別紙)

衆議院議員田川大吉郎君提出陸軍壯丁體格不良ノ傾向ニ關スル質問ニ
對スル答辯書

第一項ニ付

男人口ニ對スル壯丁數ノ比例カ減少シツ、アリトハ未タ斷定シ難シ(第一表參
照)

第二項ニ付

第二項ノ事實ハ大體ニ於テ質問ノ通

第三項ニ付

徵集人員ノ増加ニ伴ヒ徵集人員中身長大ナル者及甲種合格者ノ比例ノ減少ス
ルハ已ムヲ得サルコトナレトモ壯丁數ニ對スル身長及合格者ノ比例ハ明治三十二

年ニ於テハ五尺二寸以上ノ者四割五分甲乙種^{甲種不足スルトキハ}乙種^{現役ニ徵集ス}合格者六割六

分ナリシモ明治四十三年ニハ五尺二寸以上ノ者五割三分甲乙種合格者七割ト

ナレル等寧ロ良好ノ傾向アルモノト認ム(第二第二表參照)

其ノ他明治四十年ニ於テ從來ノ乙種ヲ第一乙種第二乙種ニ區別シタルハ徵集

ノ便宜上乙種ノ中ニ等級ヲ設ケタルニ止マリ從來不合格ト爲シタルモノヲ繰上ケ

採用シタルニアラス

第四項ニ付

徵集ノ人員ノ増加ニ伴ヒ體格ノ比較的次位ニアル者ヲ徵集スルハ已ムヲ得サル所

ナリト雖從來不合格ナリシ者ヲ合格ト爲シタル次第ニアラス而シテ體格ノ比較的

次位ニアル者ヲ徵集スルモ軍隊教育兵器材料ノ改良並體力ノ程度ニ應シテ適當

ノ兵業ヲ課スルコト等ニ依リ之ヲ補フヲ以テ軍事上支障ナキモノナリ

第五項ニ付

近年ニ於ケル毎年ノ徵集人員約二十五万中約十五万ハ補充兵ニシテ其ノ中少
數ノ者カ短期ノ召集ヲ受クルコトアルノ外常ニ郷里ニ在リテモ生業ニ從事シ得ルモ

ノトス而シテ現役兵ニ在リテモ約十萬中其ノ大部ヲ占ムル步兵約六萬九千ハ二
年在營制ト爲シ輻重輸卒約一萬五千ハ三月在營ノ後郷里ニ歸休セシメアリ
右及答辯候也
大正二年三月十八日

陸軍大臣男爵木越安綱

第一表

男人口ト適齡人員トノ累年比較
年次 適齡人員 前年末男人口 前年末男人口ト適齡人員トノ千分比

明治二十二年	三〇九、六五六	二〇、〇〇八、四四五	一五、四八
二十三年	三〇七、八五六	二〇、二四六、三三六	一五、二一
二十四年	三二二、六二七	二〇、三四一、〇九七	一五、七九
二十五年	三四八、三七七	二〇、五六三、四一六	一六、九四
二十六年	三八四、五三六	二〇、七五二、三六六	一八、五三
二十七年	三八五、三四二	二〇、九〇六、四六五	一八、四三
二十八年	三九四、八一	二一、一二二、八九九	一八、六九
二十九年	四三一、四八三	二一、三四五、七五〇	二〇、二一
三十年	四一一、五三二	二一、五六一、〇二三	一九、〇九
三十一	四三二、四三四	二一、八二二、六五一	一九、八一
三十二	四三一、五〇六	二二、〇七四、二四二	一九、五五
三十三	四二七、六八六	二二、三三四、九〇八	一九、一五
三十四	四四一、八九三	二二、六一七、八五三	一九、五四
三十五	四三三、七六六	二二、九三七、九九五	一九、〇〇
三十六	三五一、六二三	二三、二四三、六七五	一五、一三
三十七	四二〇、二三三	二三、六〇一、六四〇	一七、八一
三十八	四一五、七〇〇	二三、八三六、四〇九	一七、四四
三十九	四一〇、九四九	二四、〇四九、九六四	一七、〇九
四十	四二五、七九七	二四、三一四、七九〇	一七、五一
四十一	四五四、八〇六	二四、六四五、〇二八	一八、四五
四十二	四六六、四五三	二五、〇四六、三八〇	一八、六二
四十三	四三九、一四一	二五、三八七、〇二三	一七、三〇

壯丁受檢總員ニ對スル身長五尺二寸以上ノ者ノ累年比較

受檢總員

受檢總員中身長五尺二寸以上ノ者ノ千分比

二十六年	三八一、五五七	一五九、七七八	四一、八、七九
二十七年	三七九、七〇六	一六〇、〇二五	四二、一、四四
二十八年	三八六、六一三	一六五、八九〇	四二、九、〇九
二十九年	四二三、一七八	一八九、八四九	四四、八、六三
三十年	四〇一、九五二	一八二、八一五	四四、四、八二
三十一	四二一、六五二	一八九、三一八	四四、八、九九
三十二	四二〇、二〇〇	一九一、九九三	四五、六、九一

三十三年	四一二、七九六	一九三、三二五	四六八、三三
三十四	四二八、七八四	二〇三、〇三三	四七三、五一
三十五	四三一、〇九三	二〇六、六九二	四七九、四六
三十六	三四四、五六三	一七二、一一〇	四九九、五〇
三十七	四〇八、〇三一	二〇三、八七四	四九九、六五
三十八	三九七、九八八	二〇〇、二七五	五〇三、二二
三十九	三九七、八一四	二〇六、〇五九	五一七、九八
四十	四一三、〇〇四	二一六、二二四	五二三、五四
四十一	四三七、二二一	二二八、八三七	五二三、三九
四十二	四五〇、九六五	二三六、六〇五	五二四、六六
四十三	四三〇、四一五	二二九、六八七	五三三、六四
四十四	四〇三、二一四	二一七、八〇三	五四〇、一七
大正元年	四四九、一四三	二四四、二七七	五四三、八七

壯丁受檢總員ニ對スル甲乙種合格者ノ累年比較

受檢總員

甲第一種合格者 乙種合格者

受檢總員ト甲乙種合格者トノ千分比

二十六年	三八一、五五七	二四八、四二九	六五一、〇九
二十七年	三七九、七〇六	二四八、四二四	六五四、二五
二十八年	三八六、六一三	二四一、九一三	六二五、七二
二十九年	四二三、一七八	二八六、六三八	六七七、三五
三十年	四〇一、九五二	二八八、六三七	六六八、三三
三十一	四二一、六五二	二八一、九八七	六六八、七七
三十二	四二〇、二三三	二七七、五〇七	六六〇、四二
三十三	四一二、七九六	二六八、〇八一	六四九、四三
三十四	四二八、七八四	二七二、〇五四	六三四、二七
三十五	四三一、〇九三	二七三、四二八	六三六、三八
三十六	三四四、五六三	二一九、二七三	六八二、七四
三十七	四〇八、〇三一	二七八、五八〇	七九七、五二
三十八	三九七、九八八	三二七、四〇二	六三六、五四
三十九	三九七、八一四	二五三、二二四	七〇七、二四
四十	四一三、〇〇四	二九二、〇九一	六九六、九四
四十一	四三七、二二一	三〇四、七一五	七〇八、一六
四十二	四五〇、九六五	三一九、三五四	七〇六、一二
四十三	四三〇、四一五	三〇三、九二五	七一五、一九
四十四	四〇三、二一四	二八八、三七六	七〇一、九六
大正元年	四四九、一四三	三二五、二八〇	

備考 甲種第一乙種第二種ハ現役兵補充兵ニ徵集シ得ル等位ナリ

移牒

衆議院議員森田小六郎君提出移民ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

大正二年三月二十四日

衆議院議長大岡育造殿

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

送第一八號

衆議院議員森田小六郎君提出ニ係ル移民ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

大正二年三月二十四日

外務大臣男爵牧野伸顯

衆議院議長大岡育造殿

(別紙)

衆議院議員森田小六郎君提出ニ係ル移民ニ關スル質問ニ對スル答辯書
一質問第一項ニ對シテハ政府ハ移民ノ海外發展ヲ以テ帝國ノ利益ナリト認メ移民ノ保護監督ハ勿論不絶移民地ノ調査ヲナシ彼等ノ爲メ常ニ諸般ノ利便ヲ計ル等之カ海外發展ニ關シ機宜ノ措置ヲ執リツ、アリ 尙將來ニ互リテモ依然此方針ヲ繼續スヘシ

一質問第二項ニ對シテハ政府ハ在米日本人ニ對スル政府從來ノ方針ハ彼等ヲ絶滅セシムルカ如キ懸念ナシト信ス又其方針ヲ變更スルノ意思ヲ有セス現ニ在米日本人ノ數ニ著シキ増減ヲ見ス

一質問第三項ニ對シテハ在米日本人學齡兒童ハ米國ノ法制ニ依リ一般ニ義務教育ヲ受ケツ、アリ帝國政府ニ於テ之レニ干渉スヘキモノニアラス但シ右等兒童ハ米國ノ義務教育ヲ受クル傍ラ日本語其他必要ノ教育ヲ受ケツ、アリ

移機

衆議院議員小西和君提出米穀其他取引所ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

大正二年三月二十四日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

(別紙)

衆議院議員小西和君提出米穀其ノ他取引所ニ關スル質問ニ對スル答辯書
一取引所ハ經濟上重要ノ機關ナリト雖モ亦弊害ヲ伴フノ虞大ナルモノアリ故ニ政府ハ一層其ノ監督ヲ嚴シ具正ノ機能ヲ發揮セシムル爲弊害ノ防止及矯正ニ付キ遺憾ナカラント期ス

一營業滿期ト爲ルヘキ取引所ニ對シテハ慎重審議ノ上之カ處分ヲ爲スヘキモノナルヲ以テ具體的ノ方案ニ付テハ今之ヲ言明スルコト能ハス
右及答辯候也

大正二年三月二十四日

農商務大臣山本達雄

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去年十二月二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
酒造稅法中改正法律案(衆法第四十一號)外二件

安藤新太郎君 工藤善太郎君 武藤金吉君
川村 睦君 村田虎次郎君 高木正年君
岩崎安次郎君 安東敏之君 大西五一郎君

東方調查局設置ニ關スル建議案

白川友一君 樋口典常君 指田義雄君

戸水寛八君 福岡精一君 田中善立君

伊東知也君 井手三郎君 山道襄一君

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

小久保喜七君 岩田大中君 吉原正隆君

奥田榮之進君 安田伊左衛門君 相島勘次郎君

村松龜一郎君 森丘覺平君 森川源吾君

官營製材事業廢止ニ關スル建議案

岩本平藏君 田中隆三君 手塚正次君

大久保弁太郎君 武滿義雄君 水野正己君

添田飛雄太郎君 鵜澤宇八君 高野金重君

田畑地價修正ニ關スル建議案

水間此農夫君 吉田虎之助君 小川藏次郎君

帆足隼太郎君 岩岡伊代治君 山谷虎三君

横尾輝吉君 中辰之助君 有田溫三君

鐵道速成ニ關スル建議案外三件

井深彦三郎君 佐々木文一君 戸狩權之助君

濱名信平君 武部其文君 井坂光輝君

一坂俊太郎君 濱田政壯君 平田禎君

牧野彦太郎君 石田仁太郎君 豐福泰造君

安東敏之君 野村嘉六君 鈴木寅彦君

大野龜三郎君 岡崎久次郎君 才賀藤吉君

結核豫防ニ關スル建議案

丸尾光春君 八木逸郎君 若杉喜三郎君

島田俊雄君 瀬戸山清彦君 土方千種君

鈴木萬次郎君 狩野雄一君 田川大吉郎君

朝鮮ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案

秋岡義一君 濱本義顯君 田邊熊一君

若尾幾造君 米田穰君 青地雄太郎君

八坂甚八君 松村時次君 加瀬禰逸君

樺太漁業制度改正ニ關スル建議案

川原茂輔君 恆松隆慶君 木下成太郎君

内山吉太君 平出喜三郎君 村松恆一郎君

淺羽靖君 山田禎三郎君 葉住利藏君

教員檢定委員會ニ關スル建議案

高島茂平君 三浦覺一君 鈴木巖君

安村竹松君 平出喜三郎君 柏原文太郎君

荒川五郎君 目黒孝平君 原脩次郎君

一北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案委員淺羽靖君辭任ニ付其補闕トシ

テ小河源一君ヲ樺太漁業制度改正ニ關スル建議案委員平出喜三郎君辭任ニ

付其補闕トシテ森田小六郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

不動產登記法中改正法律案外一件委員會

委員長 花井 卓藏君 理事 岡田 榮君

會計検査院法中改正法律案外一件委員會

委員長 鈴木 巖君 理事 秋田 清君

鐵道抵當法中改正法律案委員會

委員長 小出 五郎君 理事 高野 金重君

國稅徵收法中改正法律案委員會

委員長 根岸 峯太郎君 理事 市川 七朗君

北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案委員會

委員長 申本 康三君 理事 小西 和君

鐵道建設ニ關スル建議案外一件委員會

委員長 米田 纏君 理事 濱本 義顯君

府縣稅及市町村稅制限ニ關スル建議案委員會

委員長 石 磐君 理事 高鍋 篤郎君

明治神宮建設ニ關スル建議案外一件委員會

委員長 中倉 万次郎君 理事 堀切 善兵衛君

豫算編成樣式改正ニ關スル建議案委員會

委員長 福井 三郎君 理事 增田 義一君

警視廳廢止ニ關スル建議案委員會

委員長 川原 茂輔君 理事 紫安 新九郎君

戰死者及戰病死者ヲ地方神社ニ合祀ニ關スル建議案委員會

委員長 米田 纏君 理事 村松 恆一郎君

委員長 米田 纏君 理事 村田 虎次郎君

○法學博士花井卓藏君 議長——唯今ノ質問ニ關スル答辯書中ニ、内閣ノ政綱ニ

關スル再質問趣意書ニ對スルモノハナイヤウニ思ヒマス、サウデアリマス

○議長(大岡育造君) 無イヤウデアリマス

○法學博士花井卓藏君 本員ハ其點ニ付テ一言シタイト思ヒマス

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、花井卓藏君

○法學博士花井卓藏君 本年ノ三月十二日附ヲ以テマシテ犬養毅君其他吾々ノ同

志ハ内閣ノ政綱ニ關スル再質問趣意書ト云フモノヲ提出シテ居リマス、而シテ答辯ノ期

日ハ此書面提出ノ後十五日ヲ以テセラレンコトヲ併セテ要求ヲ致シテ居リマス、此質問

ハ現内閣ノ政綱ヲ國民ヲシテ周知ラシムルニ於テ、寧ロ政府ノタメニ最も必要ナルモノ

ナルデアリマス、而モ其大部分ハ會テ今ノ内閣ニ列セラルルモノノ關係ヲ有セラル、

政友會ニ於テ提起セラレタルトコロノモノデアリマス、國民ハ吾々ノ質問ヲ待ツヲ

要セズシテ、質問書ニ掲ゲラレタルトコロノ事實ハ、法律ノ上ニ必ズ實現セラルベキコト

ヲ信シテ疑ハヌデアラウト思フデアリマス、然ルニ此質問ニ對スル答辯ハ會期切迫ノ今

日ニ至リマシテモ未ダ敢テ之ヲ爲サズ、而モ具體的ニ事實ノ上ニ——質問ニ

唱ハレテ居ルトコロノモノヲ實現セラレタルトコロノモノハ絶ヘテ無イデアアル、吾々ハ誠意

ヲ以テ此質問ニ答フルノ考ヲ有セラル、ヤ否ヤ、疑ナキヲ得ヌデアリマス、質問ノ權利ハ

議院法第四十九條、第五十條、衆議院規則第四百二十二條、第四百二十三條等ニ揭

ゲラレデアリマス、質問權ノ貴重ナル質問ニ對シテ、政府ノ之ヲ尊重シテ答辯ヲ爲サ

ルベカラザル所以ノ精神ト云フモノハ、示シ出サレテ餘蘊ハナイデアアル、此點ニ關シマシ

テハ犬養毅君ヨリモ私ト同様ニ督促ノ演說ガアルコトニナッテ居リマス、ドウゾ吾々ノ質問

ニ對シテ政府ガ直ニ答辯スルノ意思アラハ、今日ニモ明日ニモ、總理大臣自カラ議場ニ

出テ質問ニ答ヘル所以ハ、直チニ現内閣ノ政綱ヲ示ス所以ニナルデアリマス、此旨
ヲ議長ヨリ傳ヘラレテ、至急ニ答辯アルヤウニ御督促アラント希望シマス
○犬養毅君 議長
○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望シマス
(犬養毅君登壇)
○犬養毅君 總理大臣ノ施政ノ方針ヲ示サレマシタ當日ニ、私ハ三箇條ノ質問ヲ爲
シタデアアル、其三箇條ノ質問ハ御承知ノ通り第一ニ國防ノ問題、第二ガ官制ノ問題、
第三ガ財政問題、從テ減稅ノ額ヲ幾ラマデニ見込付ケラレテ居ルカ、此大要ヲ御尋
致シタ、林君カラモ引續イテ詳シイ質問ガアリマシタ、二ツトモ此質問ニ對シテハ要領ヲ
得ナイ曖昧模稜、一切要領ヲ得ナイト云フガ爲ニ、吾々ハ更ニ國民黨政友俱樂部亦
樂會ノ同志、同時ニ再質問ヲ出シタデアリマス、相違ニテ再質問ヲ出シマシタ、此再
質問ハ十五日ニ限リマシタガ、十五日ニ至リテモ御答ガナイ、吾々ハ忍ブベカラザルヲ忍
デ此御答ヲ得タイト云フマデニ今日マデ待チマシタガ會期ノ切迫シタ今日ニ至ルマデ一
切之ニ答フサレナイ、所デ此質問ニ對シテハ餘程國政上重大ノ關係ヲ有ッテ居ルト云フ
ノハ、國防ノ全體ノ根本ト云フモノガ果シテ總理大臣ガ言ハレルガ如ク一定不變ノモノ
ガ極ッテ居ルナラバ、ソレカラ生ジテ來ルトコロノ師團問題其外ガ極ッテ居ナラバ、
是ガ果シテ總理大臣ガ言ハレルガ如ク國防ノ方針ガ極ッテ行タナラバ、二箇師團ハ今年
ハ出サヌ、明年モ出サヌ、明後年モ出サヌト云フコトハ確ニ言ヒ得ナレバナラヌデアアル、
四圍ノ情勢ノ變化ト云ハレマスガ、四圍ノ情勢ガ變化スルカラ國防問題ガ年中變化シ
テ初メカラ極ラヌト云フモノデナイ、現状ノ有様デハ國防ハ斯ウ云フモノガアルト云フ所
謂一定不變ノモノガアツテ、而シテ四圍ノ情勢ノ變化ニ連レテ多少ハ變化スルト云フコ
トハ免カレヌ、併ナガラ一定ノモノガナケレバナラヌ、此一定ノモノハ恐ラクハ是マデハ無
カッタデアラウト云フコトハ、諸君モ御認デアラウト思フ、ソコデ若シ此大方針ガ極ラヌト
云フナラバ、山本内閣ノ成立ト云フモノハ何ノ意味ヲ有ッテ居ラレルカ、山本伯ガ此際ニ
難局ニ飛入ラレタト云フ以上ハ、此ムツカシイ國防ノ根本ヲ決メルト云フコトガナケレバ
此内閣ハ無意味ノモノデアアル、成立ガ既ニ無意味ノモノデアアル、ソレ故ニ此御答ヲ得ナ
ケレバ財政問題經濟問題、イロ／＼ナ問題ガ起ツテモ此根本ガ定ラナイデアアル、國防
ノ根本ガ定ラナケレバ財政ノ基礎ト云フモノハ何時マデモ不確實ナデアアル、財政ノ基礎
ガ定ッテ居ナイ、財政ノ基礎ガ定ッテ居ナイニ財政ノ改革ヲシヤウガ何ラシヤウガ、本ガ
マルデ箇抜ニナッテ居ル、故ニドウシテモハ御答ヲ得ナレバナラヌデアアル、所ガ此重大
ノ問題ニ對シ、果シテ議會ニ對スル誠實ノ意思ヲ持タレバナラバ、今日マデニ御答ガナ
ケレバナラヌ、成程内閣ヲ造ッテハ日淺イト言ハレデアラウガ、凡ソ政治世界ニ身ヲ立
タレ以上ハ、夙ニ此問題ハ極ッテ居ナケレバナラヌ、小サイ問題ハ無論内閣ニ當ッテカ
ラツレカラノ仕事デアラカラ極ラヌモノモアラウガ、此問題ガ極マラヌデ内閣ニ立タレタ
ト云フコトハ驚入ッタコトデアアル、私ハ若シ有デ言ハレヌト云フナラバ誠意ヲ缺イテ居ル、今

日マデ之ヲ定メズシテ内閣ニ出ラレタト云フナラハ、此内閣ノ成立ガ無意味ナル、第二ノ問題ハ陸軍ノ官制問題ナル、官制問題ハ御承知ノ通り曖昧模稜ナル、何ト云ハレカト云ハバ、憲政運用ノ上ニ支障ナキヲ保シ難シ、有ルカモ知ラヌ無イカモ知ラヌ、斯ウ云フ意味アル、桂内閣——前内閣ハハッキリ答ヘラレテ居ル、憲政ノ運用ニ差支ナイ、海陸軍官制ハ變ヘナクテモ差支ナイト云フコトヲ斷言シテ居ル、所ガ其斷言ヲスル勇氣モ無クシテ無イカモ知ラヌ、有ルカモ知ラヌト云フコトハ甚ダ困ル、ソレダカラ憲政ノ運用ニ差支ナイカ確ニ有ルトカ、所デ之ヲ改正サレナラバ何處マデノ範圍ニヤレルノデアアルカ、吾々ハ文官制ニ定メル、即チ文武對等ノ制度ニ定メルト云フ意見デアアルカ、ソレマデ來ラレバ否ヤ、出來ヌト云フナラバ出來ヌト云フ答ヲシテ宜イ、所ガ今日マデ曖昧模稜ニ過ガラレタト云フハ、是マデノ内閣ト何等異ナルトコロハ無イ、此問題ヲ有耶無耶ニ辨テ議會サヘ過ギレバ宜イ、是ハ國事ニ對スル誠意、衆議院ニ對スル誠實ノ行爲トハ私ハ認メナイデアアリマス、文官任用令モ從テ同ジコトデアリマス、ソレ故ニ今日マデ吾々ハ十五日ガ經過シタニモ拘ラズ、忍シテ居タト云フハ、ドウカ究メラレルナラバ何レガ此大方針デアアルカラ定タモノヲ承リタイ、併ナガラ私ハ今日デハ最早答ヘ能ハザルモ、曖昧模稜ノ間ニ此議會ヲ過サレタト云フ誠實ノ意思ヲ缺イテ居ラレモト私ハ此處デ宣明致シマス、是ダケ……

○林毅陸君 此モ此事ニ付テ一言シテ置キタイ

○議長(大岡育造君) 林君、サウスルト今ノ再質問ノ事ニ付テデスカ

○林毅陸君 左様デス

○議長(大岡育造君) 再質問ノ件ニ付テ、花井君ノハ御催促デアリマスカラ當然ト思ヒマスガ、今ノ政府ガ答辯セザルコトニ付テノ非難デアレバ、茲ニ別段ノ一ツ問題ヲ……

○林毅陸君 犬養君ノ言ハレタト同様ノ形ニ於テ——犬養君ニ御許ニナツタナラハ私ニモ……

○議長(大岡育造君) 催促ナラバ催促デ宜シイガ、犬養君ノハ催促デハナカッタ

○林毅陸君 催促ノ意味ヲモ含シテ私ノ意見ヲ申シタイ

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

(林毅陸君登壇)

○林毅陸君 私人簡單ニ申ス積リデゴザイマシタカラ、席ヨリ申ス積リデアッタデスケレドモ、登壇ヲ求メラレマシタカラ是ヨリ申シマス

○議長(大岡育造君) チョット林君、犬養君ト同様質問ヲ出シテ居ルノデスカ

○林毅陸君 左様デス——吾々ノ再質問ニ對シ十五日マデニト云フ希望ヲ添ヘテ置イタトコロガ、其期限ノ中ニ答辯ガ無カッタ、而シテ其後數日ヲ經ルモ尙答辯ガ無イト云フコトニ付キマシテハ、私モ甚ダ遺憾ニ思フ一人デアリマス、吾々ハ極メテ淡泊ニ、卒直ニ誠實ニ、政府ト共ニ國事ヲ研究シタイト云フ希望ヲ持テ居ルノデアアルカ、總理大臣ガ吾々ト希望ヲ同ジクセラル、ヤ否ヤハ不明デアアルカ、免角今日マデノ實績ヲ見ルト云フト或ハ其希望ヲ有セラレナイデハナカッタ云フコトヲ疑フデアリマス、犬養君ガ既ニ此政府ノ態度ニ付テ、甚ダ不滿ノ意ヲ表セラレデアリマスガ、其點ハ吾々モ感ツ同ジウスルモノデアアル、甚ダ政府ノ——總理大臣ノ今日マデノ態度ニ付テハ——此再質問ニ對スル態度ニ付テハ大ナル不滿足ヲ感ズルモノデアアルト云フコトヲ、敢テ告白セザルヲ得ナイデアリマス、而シテ一日モ速ニ答辯ヲ與ヘラレンコトヲ望ムノ意味ニ於テハ、花井君

ト又感ツ同ジウスルノデアリマス、併シ總理大臣ハ速ニ答辯ヲ與ヘラル、ヤ否ヤ、其點ハ先方ノ御隨意デアアルカラシテ、或ハ吾々ノ希望通り又満足スベキ答辯ヲ與ヘラレカモ知ラナイ、故ニ本員ハ此際吾々ノ意見ヲ少シク申添ヘテ置キタイト思フデアリマス、ト云フハ吾々ノ質問致シマシタル項目ノ中ノ陸海軍大臣ノ官制ニ關スル件之ニ就テハ武官ニ限ルノ制度ヲ改メル意ガアルヤ否ヤト云フデアリマシタガ、本員等ハ斷然武官ニ制限スルト云フコトハ廢セラレナケレバナラヌモノト云フ意見デアアル、文官武官並ビ用井テ差支ナクスベキモノデアアルト云フ意見デアアル、又臺灣及朝鮮ノ總督ニ付テモ同ジヤウナル改正ヲナス意見デアアルカト云フコトヲ併セテ質問致シテ居ルノデアリマスガ、是亦吾々ノ見ル所ニ於テハ、武官ニ限ルト云フ現在ノ制限ヲ撤スベキモノデアアルト云フ考デアアル、軍人武人ノ獨占ヲ許スト云フコトハ甚ダ是ハ怪シカラヌコトデアリマス、武閣ト云フカ軍閣ト云フカ、是ハ是非共打破セネバナラヌト云フコトガ吾々ノ意見デアアルデアリマス、又文官任用令ニ付テハ勅任官以上ノ任用ニ付テ制限ヲ除クヤ否ヤト云フコトノ質問デアリマスガ、此點ニ付テ我々同志ノ見ル所ニ於テハ、其制限ヲ撤シ、勅任官以上ハ特別ノ窮屈ナル制限ヲ置カズ、自由ニ人オラ登用シ得ルヤウニ改メルベキモノデアアルト云フコトガ即チ吾々ノ意見デアアル、又第三ニ現在ノ二箇師團問題、ヤカマシクナツテ居ル此二箇師團問題、之ニ就テハ國防上ヨリ考ヘテ、師團増設ノ必要ナシト云フコトガ吾々ノ意見デアアル、政府ニ向ッテ必要アリヤ否ヤ、ドウ云フ意見デアアルト云フコトヲ尋ネタデアリマスガ、吾々ハ必要ナシ、國防ノ見地ヨリ見テ必要ノナイモノデアアル、財政上ニ餘裕ガ有ラウガ無カラウガ別問題、ソレハ頓著セヌ、免角必要ナイモノデアアルト云フコトガ吾々ノ意見デアアル、政府ハ果シテ吾々ト意見ヲ同ウセラル、ヤ否ヤ、ソレハ量リ難イ、政府ガ今後答ヘラレルニ於テ其答辯ガ吾々ノ満足スベキモノアルヤ否ヤソレモ量リ難イ、吾々ノ意見ヲ政府ガ採ルヤ否ヤハ先方ノ御自由デアアルガ、同時ニ吾々ハ政府ノ爲ストコロニ對シテハ、今後批評ノ絶對自由ヲ保留スルモノデアアルト云フコトヲ、茲ニ宣言シテ置クデアリマス(拍手起ル)

○關直彦君 議長ニ伺フデ置キマス——議長ニ御伺ヒテ致シタイコトガアリマスガ、營業稅法案ノ委員會ハ何時御開キニナリマスカ

○議長(大岡育造君) 是ハ先日副議長ヨリ報告ニナリマシタル通り、別ニ許可ヲ得ズシテ委員長ハ開クコトヲ得ルヤウニナツテ居リマスカラ、唯今私ノ手許デハ分リマセヌガ、委員長ニ御尋ナ願ヒタイ

○關直彦君 ソレハ公報ニアルモノハサウデアリマスガ、公報ニ載ツテナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ何時開カレタト云フコトヲ伺ヒタイ

○議長(大岡育造君) 委員長ニ御開キヲ願ヒタイ

○長島繁太郎君 唯今關君ノ御尋デアリマシタガ、營業稅法改正ノ委員會ハ、今日開イテ居リマセヌデアリマス(「早く開イテ貰ヒタイ」ト呼フ者アリ)成ベク早く開キマス

○關直彦君 私人左様ナラ委員長ニ請求ヲシテ戴キタイコトガアリマス、本案ハ實ニ重大ナル問題デアリマス、殊現政府ガ減稅ヲ聲明シテ出サレタトコロノ大問題デアアルデアリマス、而シテ會期ガ最早明日明後日ト二日ニ迫ツテ居リマスノニ、未ダ其結了ヲ見ナイノハ甚ダ残念ナ次デアアル、新聞紙ヲ傳フルトコロニ依リマスレバ、政府ト何カ御協議中デアアルト云フコトニ傳ヘデアリマスガ、私ハ其新聞ヲ信ジマセヌデアリマス、若シ果シテ委員會ヲ開キ議案ヲ決定スルコトガ、政府ノ同意ヲ得ル或ハ政府ト交渉ノ後デナケレバ議事ヲ開クコトガ出來ヌト云フヤウニナリマシテハ、議院ノ權能ト云フモノヲ發揮スルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手起ル)ソレ故ニ意見ノアルトコロハ政友會ナリ國民黨ナリ、

ズンノ修正スベキ點ハ修正シ決議ヲシテ、之ヲ御迴シニテ差支アルマイト思フノデア
アリマスカラ、意見ノアルトコロハ十分御削除ニナルナリ修正ニナルナリシテ、早ク決議ヲ
シテ御迴シテ願ヒタイノデアアリマス、特ニ此事ヲ御催促致シマス
○議長(大岡育造君) 花井卓藏君外諸君ヨリ御希望ニ對シマシテハ、直チニ政府
ニ此旨ヲ通シテ御催促ヲ致シマス、長島君 委員長トシテ閣下ノ催促ハ御聽ノ通
リノ次第デアリマスカラ……
○長島君太郎君 了承致シマシタ
○議長(大岡育造君) 日程第一、刑事略式手續法案第一讀會ヲ開キマス

第一 刑事略式手續法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

刑事略式手續法案

第一條 區裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ其ノ管轄ニ屬スル刑事ノ事件ニ付公
判前略式命令ヲ以テ罰金、拘留又ハ科料ヲ科スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ沒收ヲ科シ其ノ他附隨ノ處分ヲ爲スコトヲ得
略式命令ハ被告人ニ其ノ正本ヲ送達シテ之ヲ爲ス但シ裁判所書記本人ニ
正本ヲ交付シタルトキハ送達アリタルモノト看做ス

第二條 略式命令ノ請求ハ公訴ノ提起ト同時ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
第三條 裁判所ハ前條ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ事件略式命令ヲ爲ス
コトヲ得又ハ之ヲ爲スコトヲ相當ナラサルモノト思料スルトキハ通常
ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘシ

第四條 裁判所ハ略式命令ヲ發スル前被告人ニ對シ書面ヲ以テ其ノ豫告ヲ
爲スヘシ
被告人ハ豫告ヲ發シタル日ノ翌日より起算シ三日内ニ書面ヲ以テ異議ノ
申出ヲ爲スコトヲ得

被告人遠隔又ハ交通不便ノ地ニ在ルトキハ裁判所ハ附加期間ヲ定ムルコ
トヲ得

第五條 略式命令ノ豫告ニハ被告事件、科スヘキ刑及附隨ノ處分並前條ノ
期間内ニ異議ノ申出ヲ爲ササルトキハ略式命令ヲ爲スヘキ旨ヲ明示スヘ
シ

第六條 裁判所ハ異議ノ申出アリタルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲ス
ヘシ

第七條 略式命令ニハ罪ト爲ルヘキ事實、適用スヘキ法令ノ規定、科スヘ
キ刑及附隨ノ處分並正本ノ送達アリタル日ヨリ五日内ニ正式裁判ノ申立
ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ明示スヘシ

略式命令ノ原本ニハ裁判所及年月日ヲ記載シ判事裁判所書記ト共ニ署名
捺印スヘシ

第八條 裁判所略式命令ヲ爲シタルトキハ檢事ニ其ノ正本ヲ送致スヘシ

官報號外 大正二年三月二十五日 衆議院議事速記第十四號 刑事略式手續法案 第一讀會

第九條 刑事訴訟法第十九條ノ規定ハ略式命令ノ送達ニ之ヲ準用ス

第十條 略式命令ヲ受ケタル者ハ正本ノ送達アリタル日ヨリ五日内ニ正式
裁判ノ申立ヲ爲スコトヲ得

刑事訴訟法第十五條乃至第十七條、第二百七條第二項、第二百四十七條
及第二百四十八條ノ規定ハ前項ノ申立及其ノ期間ニ之ヲ準用ス

第十一條 正式裁判ノ申立ハ略式命令ヲ爲シタル裁判所ニ書面ヲ以テ之ヲ
爲スヘシ

正式裁判ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ速ニ其ノ旨ヲ檢事ニ通知スヘシ

第十二條 正式裁判ノ申立ハ之ヲ拋棄シ又ハ第一審ノ判決アル迄之ヲ取下
クルコトヲ得

第十三條 法律上ノ方式ニ違ヒ又ハ期間ヲ經過シタル正式裁判ノ申立ハ決
定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス
正式裁判ノ申立ヲ適法ナリトスルトキハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲スヘ
シ裁判所ハ此ノ場合ニ於テ略式命令ニ拘束セラルルコトナシ

第十四條 正式裁判ノ申立ヲ爲シタル被告人公判ニ出頭セサルトキハ裁判
所ハ對席トシテ裁判ヲ爲スヘシ

第十五條 正式裁判ノ申立ニ因リ判決アリタルトキハ略式命令ハ其ノ效力
ヲ失フ

第十六條 略式命令ハ正式裁判ノ申立期間ノ經過又ハ其ノ申立ノ拋棄若ハ
取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ申立ヲ却下スル裁判
確定シタルトキ亦同シ

第十七條 刑事訴訟法第二十條及第二十一條ノ規定ハ本法ニ依リ作ルヘキ
書類ニ之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員法學博士小山溫君登壇)
○政府委員(法學博士小山溫君) 唯今貴族院デ裁判所構成法外四件ノ議事ガゴ
ザイマシテ、司法大臣ハワレヘ出席中デアリマスカラ、私ヨリ簡單ニ提出ノ理由ヲ申上
ゲマス、刑事略式手續法ハ(モット高聲ニ願ヒマス)「呼フ者アリ」刑事ノ手續ヲ簡單ニ
シテ、罰金拘留科料等ニ付テ命令ヲ被告人ニ送達ヲ致シマシテ、裁判所ハ被告人ヲ
呼出サズニ、若シ被告人ガツレニ同意デゴザイマスレバ之ヲ結了セシムルト云フ案デゴザイ
マシテ、裁判所ノ方モ訴訟人ノ方モ雙方共ニ便益ニナル積リデゴザイマス、宜シク御審
議ノ上御協賛アラントヲ希ヒマス

議ノ上御協賛アラントヲ希ヒマス

○高木益太郎君 本員ハ此案ニ付テ政府ニ質問ヲ致シタイノデアリマス、其第一ハ一箇年ニ拘留料ノ裁判ヲ受クルモノガ五十万人カラアルノデアリマスケレドモ、此案ハ餘程重大ナルモノデ、人權ノ上カラ申シマシテモ慎重ニ考ヘナケレバナラヌデアリマス、此重大ナル法案ヲ何故ニ國民ノ利害ヲ判斷スル痛切ナル衆議院ニ先以テ御提出ニナラヌデアリマス、民衆ノ利害ニ關スル、重大ナル案ハ、立憲國トシテハ衆議院ニ提出スルト云フ順序ニナツテ居ルノ、何故ニ衆議院ニ提出シナイノデアルカ、第二ハ斯ノ如キ重大ナル問題ニ付テハ、歐米諸國ニ於テハ先ヅ專門法律家ガ草案ト共ニ、之ニ詳細ナル理由書ヲ作製シテ天下ニ公ニシテ、一般公衆ノ論評ヲ聞イテ、其上議會ニ提出スルヤウナ順序ニナツテ居ル、然ルニ本案ハ司法省ノ當局者ガ此議會ノ終リニ迫ッテ提出セラレタノデアルガ、此頃吾々辯護士ヲ司法大臣ハ招カレタコトガアルガ、其會合ノ席ニ於テモ本案ノ説明ハナカッタ、而シテ法律調査委員會ニ於テ一二回相談會ヲ開イテ、斯ノ如キ重大ナル案ヲ提出サレタノハ、如何ニモ提出ノ順序ガ不親切極マルコト、思ヒマス、此點ニ付テモ質問ヲ致シマス、第三ノ質問ハ第二十五議會第二十六議會第二十八議會ニ於テ、政友會諸君及吾々カラ違警罪即決例廢止案ヲ出シタ、而シテ衆議院ハ滿場一致ヲ以テ之ヲ可決シテ居ルノデアリマス、尤モ第二十八議會ニハ違警罪即決例ト云フ名デハナイ、拘留料ノ關スル裁判法トシテ提出致シマシタ、此點ニ付テハ民意ヲ重シズルト云フコトヲ總理大臣ハ言ハレテ居リマス、二十五議會、二十六議會、二十八議會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決シタル違警罪即決例廢止ト云フコトニ付テハ、此案ノ中ニアリマセヌ、即チ之ヲ採ルトモ採ラヌトモナイノデアリマス、此點ニ付テハ政府ハドウ云フ方針ヲ執ラレテ居ルカ、此點ニ付テモ詳細ナル説明ヲ聞キタイノデアリマス、第四ニハ本案ハ憲法違反ノ案デアルト思フ、憲法ノ第五十九條ニ「裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開ス」ト云フコトヲ規定シテ居ル、又起草者デアル所ノ伊藤公憲法義解ニ依ルモ「司法權ハ正理公道ヲ以テ臣民權利ノ侵害ヲ回復シ及刑罰ヲ判斷スル職司トス裁判ヲ公開シ公衆ノ前ニ於テ對理口審スルハ人民ノ權利ニ對シ最モ效力アルノ保障タリ裁判官ヲシテ自ラ其ノ義務ヲ尊重シ正理公道ノ代表トナラシムルハ蓋亦公開ノ助ニ倚ル者少シトセザルナリ」ト言ッテ居ル、即チ此憲法ノ上カラ言ヘバ對審公開ト云フコトハ雙方ノ言フコトヲ聞イテ、裁判官ガ物ヲ決メルト云フコトガ正シ事デアルノ、唯一方ノ原告ノ言フコトヲ聞イテ、公開モセズ辯護士ノ立合モ許サズシテ、有罰無罰ヲ決メルト云フコトハ、憲法第五十九條ノ規定ニ反スル次第デハナイカ、是ハ略式命令トカ何トカ云フ名前デアルカ、如何ニ略式命令デモ判決ト同一ノ效力ヲ有スト云フノデアルカラ、憲法ノ規定ヲ冒シテ言渡ヲナスコトハ出來ナイ、必ズ憲法第五十九條ニ依テ裁判ハ對審デシナレバナラヌ、又公開デシナレバナラヌト言ッテ居ル、略式命令ハ判決ト同一ナル效力アルモノト云フコトヲ第十六條ニ書イテアル、名稱ハ略式デアルト云フデモ、其實質ハ確定裁判ト同一ノ效力アルモノ、對審デシナイ、即チ巡査警部檢事ノ言フコトヲ聞キ、被告ハ辯解ヲ開カナイデ、是ハ有罪デアルト云フ裁判ヲ下スト云フコトハ、對審判決ノ公開ト云フ明文ニ背イテ居ルノデアリカ、此點ニ付テモ詳細ナル答辯ヲ聞キタイ、第五ニハ此略式有罪命令ノ結果ハ豫告ガナクツテ濟ム、一錢五厘ノ葉書モ出サズニ有罪ノ決定ヲ送付スルコトガ出來ルト云フコトニナル、サウスレハ前科者ニハ名前ヲ偽ッテ警察署ヤ裁判所ニ出ル者ガ多イノデアルカラ、豫告ガ無クシマフ裁判所警察署ニ名前ヲ偽ッテ、ドンナ紳士ノ名前デモドンナ豪イ人ノ名前デモ騙ル者ガアルト、詐稱サレタ人ハ突然有罪ノ決定ヲ受ケルト云フコトニナルカラ、非常ニ人權ノ上ニ於テ危險ヲ感ズルノデア

ル、此點ニ於テモ政府ハドウ云フ意見ヲ有ッテ居ルノカ詳細ニ御説明ヲ聞キタイ、次ニ御尋シタイノハ、刑事訴訟法ノ主義ハ口頭直接審理主義ヲ採ッテ居ル、今度ノ略式ハ其主義ニ反シテ居リハセヌカ、次ニ略式命令ト云フコトハ人ヲ見ナイデ裁判スルノデアルカラ、丁度醫者ガ患者ヲ見ナイデ藥ヲ盛ルト同ジ次第デアル、犯罪ノ原因犯罪ノ情狀ニ付テハ、其輕重ト云フモノヲ適切ニ極メルコトガ出來ヌト思フ、拘留ニシテモ長期モ短期モアル、長期ノ如キハ三十日ノモノガアル、二十日ト云ヘバ歐羅巴ニ往復ガ出來ル位ノモノデアル、其長期ノモノヲ何デ決メルカト云フト、被告人ヲ調ベズシテアルコトニナルト、ドウシテモ之ヲ決メルノデアルカ、殆ド分ラヌコトニナルト考ヘル、此點ニ付テモ政府ハドウ云フ考ヘヲ有ッテ居ルノデアルカ、サウ云フ弊害ニ付テハ之ヲ防グ得ルヤケノ考案ガアルヤ否ヤト云フコトヲ聞キタイ、最後ニ御尋シタイノハ此權限ト云フモノヲ判事ニ與ヘテ、判事ハ此法律ヲ運轉スルコトガ出來ルヤ否ヤ、恐クハ不可能ニナルデアラウト思フ、人ヲ見ナイデ其人ニ對スル所ノ裁判ヲスル譯ニナルノデアルカラ非常ニ困難デアル、政府ガ能ク引ク獨逸ノ如キハ、警察署長ニハ判事ト同一ナル立派ナ人ガ多イ、其上區裁判所デハ專門家ト素人トノ混合裁判デアル、其中ニ專門ノ司法官ガ居ッテ、雙方ニ素人デ裁判スル所謂三審制度デ裁判ヲシテ居ルノ、我國ハ此制度ナク果シテ判事ハ適當ニ此法律ヲ運用ヲシテ其任務ヲ盡スコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、大ニ疑ガアリマス、政府ニ此點ニ付テ十分ナル説明ヲ求ムルノデアリマス

○加瀬禮逸君 議長、議長

○議長(大岡育造君) エライ數ガ多カダヤウデアリマスカラ……

○加瀬禮逸君 議長、議長

○議長(大岡育造君) 私ハチヨット他ニ言フコトガアルカラ……

○加瀬禮逸君 本案ハ身體ノ自由若クハ人ノ名譽ヲ剝奪スル所ノ裁判手續ニ關スル法案デアリマス、人民ニ取リマシテハ極ク重大ナル案件デアリマス、名ハ略式手續法デアツテモ其影響ハ極ク重大ナルモノデアアル、是ハ當院並ニ貴族院ニ出テ居リマス裁判所構成法ト並シテ重大ナル議案デアル、之ニ對シテ政府ノ方カラ僅ニ司法省ノ政府委員一人ガ出テ此處デ説明スルト云フコトハ、餘リ簡略ニ失スルト思ヒマス、本案ヲ粗略ニ扱フコト、思ヒマス(ツレガ略式デアルト呼フ者アリ)此重大ナル案件ニ對シテハ、司法大臣ガ自カラ出テモット詳細ニ辯明サレント望ミマス、政府ニ向ッテ私ハ更ニ大ナル説明ヲ求メマス、先以テ大臣ノ出席ヲ請ヒマス(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 加瀬君ニ申シマス、今司法大臣ハ貴族院ニ於テ裁判所構成法ノ討論中デアツテ、出席シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○加瀬禮逸君 延バシテ戴キタイ、政府委員ノ説明ガ分ラヌ、オマケニ聲ガ小サウテチヨットモ分ラヌ(委員會デアルベシト呼フ者アリ)

○法學博士花井卓藏君 私ハ案其モノニ付テ質問ハアリマヒヌガ、唯今加瀬君等ノ要求モアリマシタ、且ツ高木君ヨリノ質問ノ趣旨モアリマシタカラシテ、此案ノタメニ司法大臣自ラ出テ、説明ノ勞ヲ執ラレト云フコトハ、案ノ成立ノ上ニ於テ甚ダ必要デアラウト私ハ考ヘル、此問題ハ名ハ略式手續法ト稱スト雖モ、此略式手續法ハ憲法ニ法律ノ上ニ於キマシテハ、略式手續法ナラズデアリマス、其憲法トノ關係、吾々ハ憲法違反デアルト云フコトヲ確信致シテ居リマス、既ニ問題ニ相成リマス以上ハ、第一ニ質問サナケレバナラヌ、憲法ノ解釋デアル、而シテ事ノ必要上斯ノ如キ立法ヲ爲シタル理由、斯ク爲スニアラサレバ裁判ノ進捗困難ナリト實際上ノ事實、是ハ司法大臣自ラガ

此場ニ來ラレコトハ甚ダ必要ト思フノアリマス、會期ハ切迫致シテ居リマスルガ、研究ノ仕方ニ依リマシテハ、必ズシモ本年ノ議會ヲ通過シ得ベカラサルモノトハ信ジマセヌ、寧ロ司法大臣ガ御出デニナルマデ之ヲ延期セラレテ、サウシテ主ナル三ツノ點ヲ議場ニ宣明セラレテ、憲法ト抵觸スルモノニアラズ、又事ノ實際ハ此法ヲ待ツニアラザレバ能ハズト云フガ如キコトハ、明瞭ニ徹底スルヤウニ説明セラレルト云フコトハ、此案ノ成立ヲ望ムノニ大切デラウト思フ、決シテ此案ノ進行ヲ妨ケルデハナイ、何時ノ時デモ宜シウゴザイマス、暫ク司法大臣ノ見エルマデ、今日ノ時間中ニ於テ延ハサレテ、大臣ノ出席ヲ待ツテ而シテ議ヲ進メルト云フコトハ、寧ロ委員會ノ質問等ヲ省クデモ便宜デラウト思ヒマス、私ハ極メテ好意ヲ以テ政府ニ此點ヲ忠告致シマス、容ル、ト容レザルトハ御隨意デアリマスガ、容ル、ト容レザルトハ直チニ此案ノ運命ニ關スルコト、御承知ヲ願ヒタイ

○松田源治君 本案ハ餘程重大ナ案デゴザイマスルカラ、亦樂會又ハ國民黨ヨリ司法大臣ノ出席ヲ要求シマスル以上ハ、本員モ之ニ同意ヲ致シマシテ、貴族院ニ於ケル裁判所構成法ノ討議ガ濟シタ後ニ、司法大臣ニ親シク本議場ニ出席セラレ質問應答ニ當ラレンコトヲ私モ希望致シマス、其趣意ヲ以テ延期スル、今日ノ日程ヲ審議ハスルガ、ソレマデ延期スルト云フコトニ同意致シマス

○議長(大岡育造君) アト迴シニスルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス——日程第三、京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、石黑磐君

第三 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○石黑磐君 此京都帝國大學ノ臨時費ノ事ニ付キマシテ、委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、委員會ハ二回開キマシテハ原案ノ通り可決ヲ致シマシタガ、昨年京都帝國大學ニ於キマシテ火災ガゴザリマシテ、其爲メニ復舊ノ上事ナシマス、ソレガ二十六萬四千圓ヲ要ルノデアリマス、然ル所京都帝國大學ニハ十六萬幾ラ資金ガアリマス、其中カラ十四萬四千圓ガ特別會計ノ方ニ存在シテ居ル資金ヲ用井ルカラ、十二萬圓ガ普通經費ノ中カラ特別會計ノ方ヘ繰込テ貰ヒタイ、斯ウ云フ案デゴザリマス、是ハ事情已ムヲ得サルモノシテ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決シマシタ、右御報告致シマス

○松田源治君 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定ヒラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案 第二讀會(確定讀)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ松田君動議ノ如ク委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第四、運河法案

第四 運河法案(本院提出貴族院回付) (小字及一ハ貴族院修正)

運河法案

- 第一條 一般運送ノ用ニ供スル目的ヲ以テ運河ヲ開鑿セムトスル者ハ內務大臣ノ免許ヲ受ケヘシ
- 第二條 免許ヲ受ケタル者ハ內務大臣ノ指定シタル期限内ニ工事設計ノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ
- 第三條 國、公共團體又ハ行政廳ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ運河ニ接續若ハ接近シ又ハ之ヲ橫斷シテ河川、溝渠、道路、橋梁、鐵道、軌道其ノ他公共ノ用ニ供スルモノヲ造設スルモ 免許ヲ受ケタル者ハ之ヲ拒ムコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テ內務大臣又ハ地方長官ハ公益上必要ト認ムルトキハ免許ヲ受ケタル者ニ命シ接續、橫斷ノ場所ニ於ケル設備ヲ共用ニ供セシメ又ハ之ヲ變更セシムルコトヲ得
- 第一項ノ場合ニ於テ運河ノ效用ニ妨アリ又ハ否ニ付爭アルトキ又ハ同條第二項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルコトヲ得
- 第四條 前條ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更ニ要スル費用ノ負擔ニ付協議調ハサルコトヲ得
- 第五條 工事力其ノ設計又ハ免許、許可若ハ認可ノ條件ニ違反スルトキハ地方長官ハ其ノ改築、除却又ハ停止ヲ命スルコトヲ得
- 第六條 工事ノ全部又ハ一部竣功シ運送ヲ開始セムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受ケヘシ
- 第七條 免許ヲ受ケタル者ハ通航料其ノ他運河使用ニ關スル規程ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第八條 內務大臣又ハ地方長官ハ免許ヲ受ケタル者ヨリ事業ノ報告ヲ徵シ又ハ其ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得
- 第九條 內務大臣又ハ地方長官ハ免許ヲ受ケタル者ニ對シ運河及附屬物件ノ維持修繕ヲ命シ其ノ他公益上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
- 第十條 運河及附屬物件ハ○內務大臣ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得
- 第十一條 株式會社又ハ株式合資會社カ事業經營者タル場合ニ於テハ株式ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分一迄下ルコトヲ得
- 第十二條 左ニ掲グルモノヲ以テ運河用地トス
- 一 水路用地及運河ニ屬スル道路、橋梁、堤防、護岸、物揚場、繫船場ノ築設ニ要スル土地
- 二 運河用通信、信號ニ要スル土地
- 三 上屋、倉庫等ノ建設ニ要スル土地但シ運河ニ沿ヒタル土地ニ限ル

四 運河ニ要スル船舶、器具、機械ヲ修理製作スル工場ノ建設ニ要スル土地

五 職務上常住ヲ要スル運河従事員ノ舍宅及従事員ノ駐在所等ノ建設ニ要スル土地但シ運河ニ沿ヒタル土地ニ限ル

前項第三號乃至第五號ニ掲クル土地ハ運河ニ沿ヒタルモノニ限ル

第十三條 明治四十二年法律第二十八號ハ運河ノ抵當ニ之ヲ準用ス

第十四條 運河財團ハ左ニ掲クルモノニシテ運河財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一 水路其ノ他ノ運河用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具、機械

二 工場、上屋、倉庫、事務所、舍宅及其ノ敷地並之ニ屬スル器具、機械

三 運河用通信、信號ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具、機械

四 前三號ニ掲ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動產ノ上ニ存スル地上權、登記シタル賃借權及前三號ニ掲ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權

五 運河ニ要スル船舶並之ニ屬スル器具、機械

六 運河ノ維持修繕ニ要スル材料及器具、機械

第十五條 ○公共團體ハ免許ノ效力消滅シタル後運河開鑿ニ要シタル費用ヲ支拂ヒ其ノ運河及附屬物件ヲ買收スルコトヲ得但シ運河及附屬物件ニシテ開鑿當時ニ比シ價格ヲ減損シタルモノアルトキハ開鑿ニ要シタル費用ヨリ之ヲ控除ス

前項費用ノ範圍及金額ニ付協議調ハサルトキハ地方長官之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十六條 ○公共團體ニ於テ必要ト認ムルトキハ免許年限ノ滿了前ト雖運河及附屬物件ヲ買收スルコトヲ得

前項ノ買收價格ニ付協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徴シ地方長官之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十七條 左ニ掲クル場合ニ於テハ免許ヲ取消スルコトヲ得

一 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ

二 免許、許可若ハ認可ノ條件ニ違反シタルトキ

第十八條 工事竣功前免許ノ效力消滅シタル場合ニ於テハ地方長官ハ免許ヲ受ケタル者ニ對シ原狀ノ回復其ノ他必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

第十九條 前二條ノ場合ニ於テ同一路線ニ當リ運河ノ開設ヲ免許セラレタル者ハ運河及附屬物件ヲ買收スルコトヲ得

前項ノ買收價格ニ付協議調ハサルトキハ第十六條第二項ノ規定ニ依ル

本條ノ規定ハ運河財團ニ屬スルモノニハ之ヲ適用セス

附則

第二十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 本法施行前免許ヲ受ケタル運河ニ關シ本法ヲ適用スヘキ範圍ハ内務大臣之ヲ定ム

○松田源治君 本案ハ貴族院ヨリ修正シテ回送ニナリタス案ニ係カルノデアリマス、其内容ヲ能ク調べ見マスレバ、修正ハ字句ノ修正デアリマシテ、法律ノ文意ニハ格別ノ相違ハナイノデゴザイマス、仍テ貴族院ノ修正ニ本院ハ同意ヲ致シマシテ、其案ヲ成立タセタイト思ヒマスカラ諸君ノ御同意ヲ求メマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長〔大岡育造君〕 貴族院ノ修正ニ同意ラスルニ御異議ハナイト認メマス、仍テ本案ハ貴族院修正ニ同意ラスルコトニ決シマシタ——日程第五、質屋取締法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス、岡田榮君

第五 出 質屋取締法中改正法律案〔岡田榮君外二名提 第一讀會

第五條 質屋取締法中改正法律案

第三條 質屋ハ質物ニ付不正ノ疑アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ警察官ニ申告ス

第五條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ質屋主ニ於テ之ヲ必要トナササルトキハ交付セサルコトヲ得

〔岡田榮君登壇〕

○岡田榮君 本案ハ質屋取締法ヲ改正セントスルノデアリマシテ、同三條ハ諸君ガ御承知ノ如ク、質屋ガ質ヲ取ルニ當リテ質屋主ニ於テ其質物ニ就テ、果シテ質入スルトコロノ權利ガアルヤ否ヤヲ確メヤウト云フ規定デアリマス、此規定ハ本員ノ見ル所ニ於テハ全ク無用ナ規定デアル、現在質屋ガ質ヲ取ルニ當リマシテハ、其質權ヲ實行シテ其目的ヲ達スルト云フノ當然デアリマシテ、質權ノ實行ヲスルコトガ出來ナイ、言葉ヲ換ヘマスレバ不確實ナ質ヲ取ルト云フ馬鹿者ハ世ノ中ニアリマセヌ、ツレカラ一方カラ考ヘテ見マシテ、不正ノ品ヲ取ッタナラバ刑法上ノ處罰ヲ受ケマス、尙情ヲ知ラナクテ取ッテモ質屋取締法ノ十六條ニ依リマシテ警察官カラ何時ニテモ徴收セラレテ、自分ガ損害ヲ受ケネバナラヌヤウナ次第デ、十二分ニ質屋ハ注意ヲ致シマスノデアリマスカラ、此規定ハ無クトモ宜シイ、無クテモ宜シイト云フモノデアッタナラバ、唯ツレダケデアリマスナラバ茲ニ改正ラスル必要モアリマセヌガ、是アルガタメニ非常ナ害ヲ爲シテ居ルノデアリマス、其害ハ最初質ヲ取ル時ニ方リマシテ相當注意ヲ施シ、善意テ取ッテ居リマシテモ、後トテ其品物が不正品デアルト云フ事柄ガ發見シタ際ニ、之ヲ結果カラ見マシテ、確認シテ居テナカッタト云フノ往々處罰ヲ致シテ居ルヤウナ事例ガアリマス、是ハ裁判官ノ非常識ト云フ事柄モ多少原因致シテ居リマセウガ、必要ナ規定デアラナラバ免モ角モ、前申シマスガ如ク全ク不必要ナ規定デアリマスガ故ニデス、之ヲ除イテ明瞭ニ致スト云フ事柄ガ至極相當ノコトデアルト本員ハ確信致シマス、ツレカラ質札ト質ノ通帳ヲ出スト云フ事柄ハ、御承知ノ如ク質屋主ノ權利ヲ保護スルガタメデアル、然レニ現行法ニ於キマシテハ質屋主ガ要ラナイト云フコトヲ言フデモ、尙之ヲ質屋ガ出サナケレバナラヌコトニナッテ居ル、若シ之ヲ出サナケレバナラバ處罰ヲ受ケルコトニナッテ居リマス、此ノ如キハ普通立法ノ

精神ニ反シテ居リマスノデアリマスルカラ、質置主ニ於テ必要ガナイト云フ場合ニ於テハ、渡サナクテモ宜イト云フ事柄ノ明文ヲ加ヘルガ至極相當ノコトデアルト思フ、ドウカ諸君ノ御賛同アラントラ請ヒマス(拍手起ル)

○高木益太郎君 質問ガアリマス、此案ハ頗ル賛成デアリマスルガ、先年此委員會ニ於テハ警察官ノ決定ニ對シテ訴願又ハ行政訴訟ヲ起スコトヲ得ルコトニナッテ居ッタノデアルガ、此案ニナイノハドウ云フ譯デアルカ、提出者ノ説明ヲ求メタイ(「委員會デ」ト呼フ者アリ)

○岡田榮君 ツレハ必要ナイモノトシタノデ、何レ後トデ……

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○法學博士花井卓藏君 私ハ委員付託ノ動議ガ出マシタガ、本案デアアリマセヌ、單リ本案ノミニ付テハアリマセヌ、此種ノ法律案若クハ建議案ヲ、刺ストコロ僅ニ二日ノ議會ニ於テ提出セラレト云フコトハ——議會省略ト云フコトハ變例デアッテ常ニ見ルベキトコロノモノデナイ、議事法ノ原則ニ據リマスルト云フト、第一議會、第二議會、第三議會ト云フモノハ各、經過シナケレバナラヌ答ノモノデアリマス、提案者自ラガ議會省略ト云フモノヲ前提ニ置クト云フコトハ、議事法ノ許サザルトコロデアル、議會モ亦認ムベカラザルモノデアル、本日提出セラレトコロノモノハ其法律案タルト建議案タルトニ拘ラス、本院ニ於テ直チニ議セラレ、ト致シマシテモ、正則ニ據レバ會期ノ盡ルマデハ終了ヲ見ルコトハ出來ナイノデアリマス、況ヤ是ガ委員ニ付託セラレ、委員長ノ報告ヲ聽ク、貴族院ニ廻リ、是ガ法律ニナルト云フコトヲ豫想致シマシタナラバ、今日法律案ヲ提出スル、建議案ヲ提出スルト云フコトハ唯案ヲ議場ニ出シテ、案ヲ吾ニ紹介スル以外ニ實ハ效果ノナイモノデアル(拍手起ル)凡ソ議長タルモノハ——議長タルモノハ議事法ノ原則ニ基キテ、一議會ニ議會ニ議會、凡ソ五日若クハ一週日ヲ正式ニ經ナケレバ衆議院ノ議事サヘモ濟マスト云フ事柄ハ、初メヨリ認メンケレバナラヌ、本期ノ會期モ盡ルニ垂ントスルニ方リ、其法律案建議案ニ院內總理ガ立ッテ、例ニ依ッテ例ノ如ク委員付託、斯ノ如キ事柄ニナルト云フコトハ、法ヲシテ力ヲ得セシムルト云フガタメニ起ルニハアラズシテ、作ラレナイ法律ヲ豫想シテ出スト云フ事柄ニ相成ルノデアリマスカラシテ(拍手起ル)本案ノ如キモノハ——本案ノ如キモノハ今日直チニ——政府案デハゴザイマセヌカラシテ、今日直チニ此議場ニ於テ決定セラレト云フノナラバ、或ハ別論デアリマスルガ、併ナカラズ委員ニ付託スルト云フコトハ、案ノ成立ヲ欲シナイト云フ事柄デ、提案者モ満足シ同意スル人モ満足スルト云フ事柄デ、所謂御土産案ナルモノハ是デアルカ是デナイカ存シマセヌガ、會期ノ盡ル際ニ方デ此ノ如キ議事法トハ兩立セザル提案スルト云フコトハ、甚ダ欲セザルガ故ニ、誠ニ岡田君ノ人格ト其ノ提案ニハ大尊敬ヲ致シマスルガ、岡田君ハ議院ノ面目ノタメニ犧牲ニナッテ貴ヒタイト云フコトヲ欲シマステニ、委員付託ノ動議ニハ反對致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 採決致シマス、本案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、依ッテ本案ハ九名(少數ト呼フ者アリ)ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第六日本勸業銀行法中改正法律案ノ第一議會ヲ開キマス、水間此農夫君

第六 日本勸業銀行法中改正法律案(水間此農夫君 第一議會 提出)

日本勸業銀行法中改正法律案

第十四條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

鐵道財團及軌道財團ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ不動産ト見做ス

(水間此農夫君登壇)

○水間此農夫君 本案ハ極ク簡單ナ建議案デゴザイマシテ、即チ日本勸業銀行法中ノ第十四條第三項ノ次ニ「鐵道財團及軌道財團ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ不動産ト見做ス」ト云フ一項ヲ加ヘテ貴ヒタイト云フニ過ギヌデゴザイマス、鐵道並ニ軌道ハ農業發達ノ上ニ於キマシテ直接ナル關係ヲ有シテ居ルモノデゴザイマス、輕便鐵道ノ如キハ國費ノ補助ヲ以テ普及ヲ致シテ居リマス位デゴザイマスルカラ、是ニ放資ノ途ヲ開クト云フコトガ最モ肝要ナコトデゴザイマス、然ルニ鐵道財團ヲ不動産ト見做スコトノ明確ナル規定ノナイタメニ、不動産ヲ目的トシテ貸付ヲ致シテ居リマス、銀行カラ放資ノ途ヲ得ナイト云フコトハ甚ダ遺憾ナ次第デゴザイマスカラ、差當リ日本勸業銀行法中ニ是等ノ改正ヲ致シタイト云フ案ニ過ギナイノデゴザイマス、ドウゾ皆サシ御賛成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ三月二十日ニ委員付託ニナリマシタル鐵道抵當法中改正法律案ニ關聯セル議案ナルニ依リ、同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ガナケレバ本案ハ鐵道抵當法改正法律案ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、本委員會ハ本日午後二時ヨリ開會スルコトニナッテ居リマスルカラ、直チニ此案モ開カレンコトヲ望ミマス

○松田源治君 此場合司法大臣モ御出席ニナリマシタカラ、先程延期ニナッテ居リマシタル刑事略式手續法案ノ議事ヲ進行セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 日程ノ第一、先刻後週ニシテ置キマシタル刑事略式手續法案ヲ是ヨリ付議致シマス、即チ司法大臣ガ出席サレマシタカラ……

刑事略式手續法案

第一議會ノ續

○加瀬禮逸君 私ハ此案ニ對スル司法大臣ノ説明ヲ先ツ求メタイ

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ希望致シマス

○加瀬禮逸君 説明ヲ求メテ、ツレカラ更ニ質問致シマス

(司法大臣松田正久君登壇)

○司法大臣(松田正久君) 今加瀬君ヨリ本案ノ説明ヲ求メラレマシタガ、本案ニ付テハ曩キ司法次官ヨリシテ説明ヲ致シタコト、思ヒマスル、併シ大臣ノ説明ガ必要トアレバ、決シテ之ヲ避ケル必要ハアリマセヌケレドモ、重複ヲ致スカト思フ故ニ簡略ニ述ベル積リデアリマスガ(能ク聞エマセヌ大聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ(本案ハ全ク新規ノモノデゴザイマスルガ、此案ヲ立テマシタル所以ハ、些細ナル事件ニ付テ煩瑣ナル手續ヲ要スルノハ、官民ノタメ最モ不便不利益デアルカラ、成ベク輕微ナル事件ニ付テハ手續ヲ省略致シタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデゴザイマスル、即チ罰金拘留料ノ如キ最モ些細ナル事件ニ付キマシテハ、被告人ヲ屢ニ裁判所ニ喚出シテ時間ヲ費シ且費用ヲ要スルト云フ如キコトハ、却テ被告人ニ於テ不便甚ダシキコトヲ見ヨリ、此ノ如キ煩雜ナル手續

ヲ省イテ、直ニ罰金拘留若クハ過料ヲ科スルコトヲ被告ニ通告シテ、而シテ被告ガ若シ此手續ヲ省略スルコトニ付テ不服アレバ、直ニ正式ノ裁判ヲ求ムルコトヲ許シテアルノデアリマス、故ニ若シ不服デナレバ被告ハ此方ガ最も便利ナル、サウシテ其處分ニ服スレバワレナリテ済ムコトデアリマスカラ、是ハ最も被告ニ取ツテ利益ヲ圖リ、且ツ官ニ於テモ手續ヲ省クト、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌデアリマス、又此事ニ付テハ曩ニ何難カ知ラヌガ、憲法違反デハナキカト云フヤウナ質問モアツタラシイデゴザイマスルカラ、亭ナガラ併セテ此事ヲ申シテ置キマスルガ、當局者ニ於テハ此事ニ付テハ最も詳細ナル取調ヲ致シテアル、サウシテ不服ナレバ直ニ正式ノ裁判ヲ求ムルコトヲ云フ途ガ開ケテ居ル以上ハ、決シテ憲法違反ト云フコトハナキ、斯ウ云フコトニ當局者ハ取調ヲ致シテ譯デゴザイマスカラ、亭ナガラ此事ヲ申シテ置キマスル

○加瀬禮逸君 私ハ此場合司法大臣ニ對シテ質問ヲ致シタイ點ガ二ツアリマス、第一ハ此案ハ唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、輕微ナル刑事裁判ノ簡易ヲ期スル上ニ於テ、立案セラレタモノデアルト云フデアアル、成程法案ノ示ストコロモ左様デアリマセウ、民事訴訟ニ於キマスル督促手續ノ規定ニ參照セラレマシテ、此立法ヲセラレタモノト思ヒマスル、併ナガラ此督促手續ニ於テ當事者ヲ審訊セズシテ發スルコトコロノ支拂命令ナルモノハ、是ハ財産上ニ關係スルノミデアアル、然ルニ本案ハ人民ノ身體ノ自由若クハ名譽ニ立入ルモノデアリマスカラ、罰金若クハ科料ナレバイザ知ラズ、拘留ナルモノハ身體ノ自由ヲ妨グルコトコロノミデアアル、又罰金ナリ科料ナリヲ科セラル、場合ニ於テモ、唯財産ノ損失ノミナラズ、名譽ヲ毀損スルコトコロノ重大ナル關係ヲ持ツ法案デアアル、然ルニ當事者ヲ審訊セズシテ豫メ命令ヲ發スル、之ニ不服ナレバ正式裁判ノ申立テガ出來ル、恰モ支拂命令ニ於テ債務ノ辨濟ヲ命ズル、之ニ異議ガアレバ異議ノ申立テナスコトガ出來ルト同ジデアルト云フ譯ニ同視スルコトハ出來ヌ、簡易ニ事件ヲ裁判スル形ハ相類似スルモノナルモ、案其モノ、内容ガ異ナルデアリマスカラ、直ニ以テ同様ニ立法スルコトハ出來ナイデアアル、案ノ内容ガ支拂命令トハ其趣旨異ニシテ居リマスカラ、餘リニ簡略ヲ欲シテハ人權ヲ尊重スル上ニ於テ如何デアラウカト思フデアリマス、彼ノ人權尊重ト云フ聲ノ盛ナルトキニ方リ、違警罪即決例モ人權蹂躪ノ甚ダシキモノデアルト云フ非難ガ起ツタコトハ、吾人ノ記憶ニ新ナル所デアアル、是等ヲ直サウト云フ場合ニ於テ、本案ガ輕微ノ事件ニモ裁判官ノ裁判ヲ受ケシムルコトニ規定シタルハ、餘程御考慮サレタモノト思ヒマスガ、餘リニ略式ニ失シテ居ルト考ヘラレマス、斯クテモ人權ヲ尊重スル上ニ於テ敢テ妨ゲナキモノト信スルヤ否ヤ、之ヲ一ツ、其次ハ即決例ニ依ルト拘留及科料ニ付テノミ變則ノ裁判ヲ致シテ居ル、簡略ナル裁判ヲ致シテ居ルデアリマス、即決例ハ警察官ガ裁判權ヲ行用スルノ形ニナツテ居リマスガ、本案ハ左様ナコトハナキ、裁判官ヲシテ裁判ヲ爲サシムルデアルカラ、彼ノ即決例ノ如キモノトハ固ヨリ趣旨異ニシテ居リマスガ、併ナガラ孰レモ簡略ナル裁判ニ於テハ同ジデアアル、機關ハ異ナルガ裁判ノ方式ガ簡便ニヤルニ於テ同一デアリマス、彼レデスカラ科料拘留ノミ止メテアルノニ、是ハ罰金刑ニマデ進メテアルノデアリマス、罰金刑マデ進メテ行フコトニシマスレバ、刑事裁判ノ大部分ハイツモ略式手續ニ因ツテ各人ノ知ラザル間ニ下サル、コトニナルデアアル、不服アル場合ニ於テハ正式裁判ヲ要求スルコトガ出來ルモ、餘リニ略式ノ範圍ヲ擴ルノ嫌ガアルト思ヒマスカラ、罰金タケテ除イテ拘留科料ノミ止メテハ如何デアリマスカ、此點ニ就テモ御答ヲ得タイノデアリマス

〔司法大臣松田正久君登壇〕

○司法大臣(松田正久君) 第一ノ御尋ハ、支拂命令ト是トハ大ニ違フデハナキカ、ソレト同一ニ見テ居ルカト云フ御尋ノヤウデアリマスルガ、固ヨリ民事ト刑事デアレバ違フニ相違ナイノデアリマス、併ナガラ當局者が見ルトコロデハ是ハ決シテ人民ノ權利ヲ尊重セザル趣意ハナキ、却テ被告ハ人ニ取ツテ便利ニナルノ法ヲ立テヤウ、斯ウ云フ考ヲ以テ爲タコトデアツテ、却テ其内容ヲ言ウタナラバ被告ハ權利ヲ尊重スルト云フテモ宜カラウカト思フ位デアリマス、コレカラ第二ノ御尋ハチヨット聞漏ラシマシタガ……

○加瀬禮逸君 罰金タケテ除イテハイカニカト云フノデ……

○司法大臣(松田正久君) 其事ニ至テハ却テ科料罰金ト云フモノハ先ツ類似ノモノデアアル、併シ拘留ト云フコトニ至ツテハ却テ此性質ガ餘程違ツテ居ルト思フデアリマス、ソレデ拘留ガ出來ル位デアツタナラバ罰金モ決シテ惡イコトハアルマイ、唯拘留タケテ除イテハドウデアアルカト云フ說モアリ、又考ヘテモ見マシタガ、拘留トモ勿論是ハ刑法ノ定メガアルノデアアルカラ、ソレニ超ヘテヤルト云フコトデモナキ、又罰金——罰金ト云フデモ是モ拘留ニ換ハル場合モアルノデス、ソレデカラ罰金拘留科料ノ間ニ區別ヲ立テルノ必要ハナキ、斯ウ云フ考カラシタ事デアリマス、御意見ハ御意見トシテ、ドウカ御發言ヲ願ヒタイノデアリマス

○高木益太郎君 唯今ノ質問ニ付テ要領タケテ述べマス、第一ハ何故ニ本案ノ如キ重要ナル人權ノ上ニ關係ノ深キ議案ヲ、主トシテ民意ヲ代表スル衆議院ニ先キニ提出セズシテ貴族院へ提出シタルカ、第二本案ノ如キ重要ナル議案ヲ何故ニ議會ノ終リニ臨ンデ突如トシテ提出シタルデアアルカ、甚ダ議會ニ對シテ不親切デナキカ、第二違警罪即決例廢止ハ第二十五、二十六、二十八議會ニ於テ衆議院ハ滿場一致ヲ以テ可決シタルモノナルニ、本案ノ中何等ノ規定ナキ理由如何、第四本案ハ憲法第五十九條ノ「裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開ス」ト書イテアル、即チ原被雙方ノ言フコトヲ聽イテ裁判スルト云フノガ憲法ノ原則デアアル、之ヲ唯檢事ノ言フ所ヲ聽イテ裁判スルト云フコトハ、憲法第五十九條ニ違背セザルカ、第五刑事訴訟法ノ主義ハ口頭直接審理主義ヲ採ツテ居ル、然ルニ本法ノ如ク略式手續ニ改正スルノハ、刑事訴訟法ノ根本主義ニ背馳セザルカ、第六貴族院ニ於テハ政府提出ノ審判ノ豫告規定ヲ削ツタデアアルガ、若シ此規定ヲ削ルトキハ全國ニ前科ノアル者ハ何百万人トアルガ、此前科者ハ多ク警察官ニ捕ハラレルト名前ヲ偽ル、場合ニ依ツテハ松田サンノ名前ヲ名乗ラヌトモ限ラヌ、其場合ニ偽ハラレタ者ハ非常ニ迷惑スル、ソレハ間違ダト云フデモ豫告ガナイカラ、イキナリ裁判シテ何万圓ノ罰金ニ處スルトカ、二十日ノ拘留ニ處セラル、コト、ナツデモ、僅ニ不服ノ申立ノ期間ハ五日デアリマスカラ、チヨット旅行デモシテ居ツテ其間ニ確定シテ、非常ニ不都合ヲ生ジヤシナイカ、豫告ト云ツタ所ガ一錢五厘ノ葉書デ濟ムデアアルガ、此弊害ガアツテモ政府ハ貴族院ノ修正同意スルデアアルカ、或ハ飽マデモ本案ヲ維持スルデアアルカ、第七人ヲ見ナイデ裁判スルデアアル、人ヲ見テサハ間違ヲ生ズル、對審裁判デサハ間違ヲ生ズルノ人ヲ見ナイデ裁判スルデアアル、犯罪ノ存否、犯罪ノ原因、犯罪ノ情狀ニ付テドウシテ判事ガ長期或ハ短期ノ刑ノ切盛ラスルカ、其標準ガ無イデハナキカ、第八今日ノ判事ニ此法律ヲ運用セシムルハ幾ド不可能ノ事ヲ迫ルノデナキカ、何等標準ノナイ唯徒ラニ心太ヲ突出スヤウニドンノヤルト云フノハ甚ダ危險デナキカ、此點ニ於テ詳細ナル説明ヲ求メマス

〔司法大臣松田正久君登壇〕

○司法大臣(松田正久君) 高木君ノ質問ハチヨット政府委員ガ書留メテ居タヤウデ

スガ、澤山アルヤウデスガ、今私が政府委員ガ書留メタモノニ依ッテ見マス、何故ニ貴族院ニ先キニ提出セシヤ、是ハ衆議院ガ先議權ヲ持タヌト云フノ外ナイト思ヒマス、是ハ當時々貴衆兩院ノ間ニ議案ガ如何ニ配布サレタルヤ、サウ云フ事モ見デヤルノデス、當時貴族院ニ於テハ却テ議案ガ少クシテ衆議院ニ於テハ大分タマッテ居リマシタカラ、ウレ等ノ事ヨリシテ貴族院ニ先ニ提出シタト云フコトニナッテ居リマス、衆議院ハ必ズ之ニ對スル先議權ヲ持ッテ居ルコトハアルマイト考ヘルノデアリマス、ウレカラ違警罪即決例ト云フモノニ如何ニ關係ヲ有スルヤト云フ質問ダ、此違警罪ト略式手續法トハ隨分關係ヲ持ツコトニハ違ヒナイノデス、其違警罪即決例ニ付テハ目下法律取調委員ニ於テ取調中デゴザイマス、今日デハマダ違警罪即決例ト略式手續法トノ關係ニ付テ調査決イタシマセヌカラ、今ノ所デハマダ調査中ト御了解ヲ願ヒタイ、貴族院ノ修正ニ對スル意見、是ハ貴族院デハ修正ラスルコトニナッテ修正案ガ當院ニ廻ッテ居ラウト思ヒマス(高木益太郎君「豫告ノ點デアリマス」ト云フ)豫告デスカ、豫告ノ方ハ貴族院デ修正致サレタ、修正致サレタル主意ハ諸君モ御承知ニナッテ居ルデアリマセウガ二重ニナル、此一體本法ノ主意ハ成ベク事ヲ簡便ニシヤウト云フコトガ一番主旨トナッテ居ル、然ルニ二重ノ手續ラスルト云フコトハ甚ダ本法ノ主意ニ反スルノデナイカ、斯ウ云フ所ヨリシテ修正ラササレタモノデアリマス、依ッテ政府ニ於テハ兩院ニ於テ是ガ可ナリトサル、ナラバ、決シテ政府ハ敢テ原案ヲ固執スルノデナイ、唯當局ニ於テハ成ベク鄭重ニ致サウト云フトコロヨリ、稍々重複ニ互ル手續ヲシテ置キマシタケレドモ、貴族院ニ於テ其重複ハ必要デナイト云フノデアル、豫告ヲ取ツタメ憲法違反ト云フコトニナラナイカト云フコトデアリマスガ、政府ニ於テハ之ニ一向反對ハ致サヌト云フコトニ致シタデアリマス、ウレカラ口頭辯論ガ出來ヌ——無論是ハ被告ヲ喚出シテノ事デナイカラ、口頭辯論ノ出來ル譯ガナイ、ウレデ被告ガ若シ口頭辯論ヲシヤウト云フ希望ガアルナラバ、直チニ正式ノ裁判ヲ求メル、正式ノ裁判ヲ求メタ所デ初メテ口頭辯論ガ出來ルコトデアリマス、被告人ヲ調ベズシテ裁判スルハ其當ヲ得ザルナリ、被告人ヲ取調ベズシテ其當ヲ得ザルニアラズヤ、是ハマア被告人ガ不服デアレバ必ズ正式ノ裁判ヲ求メルカラ、是ハドウモ簡略手續法ヲ要旨トスルナラバ、斯ウ云フコトハ言ハズトモ分ッテ居ルト思フ、憲法違反デアルヤ否ヤト云フ點ニ至ッテハ尤キニ加瀬君ノ御質問ニ對シテ御答シテ置キマシタカラ、ウレデ御承知ヲ願ヒタイ、マア是位ノ事ト思ヒマスガ、尙御質問ガアリマスレバ御答致スコトニ致シマス(大ニ要領ヲ得テ居ル)ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 此場合議事日程ヲ變更シテ所得税法ノ討議ニ移ルコトニ付テ御異議アリマセヌカ

ハ第三十四條ノ帳簿及物件ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得」下云フ條項ガアリマシタガ、之モ制
除スルコト決シ、更ニ又第四十六條ノ「全部割除スルコト決シマシタノデアリマス、
此第四十六條ノ全部ヲ割除スルニ付テハ、政府委員ヨリ熱心ニ原案維持ニ努メマシ
タケレドモ、是モ委員會ニ於テハ多數ヲ以テ割除スルコトニナツタノデアリマス、此箇條
ヲ割除シマシタル理由ハ、斯ル條項ヲ新ニ設ケラレテハ實際ニ於キマシテハ納稅義務者ハ
圖ラザル迷惑損害ヲ被ルニ至ルデアラウト云フデアリマス、次ハ第五十條——五十條
「沖繩縣ヲ割ルト云フ點デアリマスガ、其條ニ沖繩縣ニハ大正七年ヨリ此法律ヲ施
行スルト云フ一項ヲ設ケ五箇年ノ間ハ此法律ヲ施行ヲ延期スルト云フコト決シタノデ
アリマス、其理由ハ沖繩縣ニ於キマシテハ、去ル四十一年ニ於テ是マデノ政府ヨリ總テ支
辨サレタコトヲ縣費ヲ、翌年ヨリ即チ四十二年度ヨリハ二十萬圓ニ限リ、他ハ沖繩縣
民ノ負擔トスルト云フコトニナリマシタノデ、其翌年ノ四十二年度ニ特別縣制ヲ實施
シテ、爾來今日マデ僅ニ五年ノ間デアリマスケレドモ、沖繩縣民ノ負擔ハ漸次増加ヲ致
シテ、本年度ハ既ニ二十萬圓以上ニ上ツテ居ルコトデアリマス、從ツテ今日デハ稍
困難ノ狀態デアルト云フ折柄デアリマス故ニ、此際更ニ急ニ負擔ヲ増スト云フコトハ
穩當デアリマス、故ニ先ヅ五箇年位ノ所ハ施行ヲ猶豫スルガ宜カラウト云フノデ、斯ク決
定ヲ致シタノデアリマス、デ最後ニハ附則中ニ「大正二年」トアリマシタノ「二年」ト修正
スルコトニ決定致シマシタノデ、其理由ハ是ヨリ申上ケルマデモナイコト、思ヒマスカラ略シ
マス、デ序デナガラ此非常特別稅法廢止法律案ニ對スル修正ノコトモ申上ケテ置キマス
ルガ、是ハ大正二年十二月三十一日限リ廢止ト云フコトデアリマシタガ、前ニ申上ケマシ
タ通り、此所得稅改正法律案ガ今年ヨリ施行スルト云フコトニ修正ヲ致シタノデアリマ
スカラ、從ツテ此非常特別稅法ノ廢止モ、期日ヲ變化シナケレバナラヌト云フコトニナリマ
スノデ、此改正案ガ法律トナツテ發布サレ、施行セラル、日ヨリ廢止スルト云フ意味ニ修
正ヲ加ヘタノデアリマス、先ヅ經過及結果ハ今申上ケマシタ通りデアリマスニ付キマシテ
ハ、幸ニ委員會修正ノ通り御贊同下サランコトヲ切望致シマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 高橋大藏大臣

○大藏大臣（男爵高橋是清君） 唯今委員會長ヨリ修正ノ御説明ガアリマシタ、之ニ對
シ政府ノ考フル所ヲ申上ケテ置キマス、此修正ニシテ若モ通過シ、又貴族院ニ於テモ其
通り通過スルト云フ場合ニ於キマシテ、金額ノ點ニ於キマシテハ政府ハ御同意ヲ致シマ
スルガ、此施行期限ノコトニ付キマシテハ遺憾ナガラ御修正ニハ御同意ガ出來ナイノデア
リマスカラ、此段チヨット御斷リヲ致シテ置キマス

○田川大吉郎君 議長

○議長（大岡育造君） 田川大吉郎君

○田川大吉郎君 私人委員會長若クハ政府委員ノ御方ニ、本案ニ關シテ二箇ノ點ヲ質
問ヲ致シタイと思ヒマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス

ス、私ノ記憶スル所ニ誤リガナイナラバ、明治四十年ノ頃、政府ハ稅法ノ審查委員會
ト並ニ稅法ノ整理ノ委員會ヲ開ケレタコトガアル、其時分ニ勤勞ノ所得ニ關シテハ特ニ
注意ヲ拂ヒ、資產ノ收入ニ對シテハ十分ノ標準トシテ課稅ヲ致シマスナラバ、勤勞ノ收
入ニ對シテハ十分ノ標準トシテ、十分ノ六ニ向ツテ課稅ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ第
一ニ決定シタルコトガアル（ヒヤ／＼）ト呼フ者アリ）併ナガラ此政府ニ於テ收入ヲ斟酌
致シマシタ結果トシテ、其控除スベキ十ノ四ノ三ニ低減シタノデアアル、審查委員會
ニ於テ先ヅ斯ク決議シ、次デ整理委員會ニ於テモ此方針ヲ認メテ、當時ノ兩委員會ニ
於テ勤勞ノ所得ニ關シテハ十分ノ三ヲ其豫算ノ收入ヨリ控除シテ課稅スベキモノデア
ルト決定致シマシタ、此決定ヲ致シマシタノハ偶然デハナイ、歐洲ノ事例ヲ研究シ斟酌
致シマシタト云フ以外ニ、日本人ノ勤勞ニ堪ヘ得ベキ年限ヲ特ニ注意ヲシテ研究ヲ致
シタノデアリマス、日本人ガ勤勞ニ堪ヘ得ベキ年限ヲ約二十五年ト算定シタ、此二
十五年ノ算定ノ標準ニ依テ、十分ノ四ヲ控除シナケレバナラヌト云フ理論ガ起ツタノ
デアリマス、今此案ニ依リマスト十分ノ一ヲ控除スルトナツタ、初メ審查委員會ニ
於テハ十分ノ四ヲ控除スルトシタ、ソレヲ收入ノ關係カラシテ十分ノ三ニ低減シタ
モノヲ、今日更ニ政府ガ十分ノ一ニ低減スルニ至ツタ其理由ノ基ヲ所ハ何デアルカ、
之ヲ問ヒタイノデアリマス、更ニ附加ヘマス、今ノ事實ニ更ニ附加ヘベキコトガアリマ
ス、唯今申シマシタ二箇ノ委員會ハ、減稅ノ目的ニ於テ組織サレタ會合デハナイ、
今日ノ此案ハ減稅ノ目的並ニ租稅ノ均衡ヲ圖ルト云フコトガ目的ニナツテ居ル、
而シテ當時ノ兩委員會ナルモノハ單ニ均衡ヲ圖ルト云フコトガ目的デアツテ、減稅ヲ圖
ルノガ、目的デアツタ、減稅ヲ圖ルノ眼目トシナイ、兩委員會ニ於テ、勤勞ノ所得カ
ラハ、十分ノ三ヲ控除スベシト云フコトデアツタモノヲ、減稅ノ趣意ニ於テ計畫セラル
ル此提出案ガ、十分ノ一ヲ控除ニ止メタニ至ツテハ格段ノ理由無カルベカラスト思フ、
其理由如何、第六條ノ方ハ是ハ勤勞收入ノ課稅ノ最低限デアリマス、三百五十
圓ト云フコトハソレヲ唯今委員會長ノ報告ニ依テ四百圓ニマデ引上ラレタト云フコトヲ
伺ヒマシタ、是ガケデモ引上ラレタコトニ向ツテ甚ダ満足ヲ表シマス、當時ノ兩委員會
ハ之ヲ四百圓ニ極メテ居リマシタ、故ニ四百圓ト修正サレタコトハ當時ノ兩委員會
ノ決定ト正シク一致シテ居リマシタ、併ナガラ當時ノ兩委員會ノ決定ナルモノハ、今
申シマス通り十分ノ三ヲ控除シテ、其十分ノ七ヲ課稅ノ標準ト見タノデアリマス、故
ニ今日ノ此御修正ニ依リマシタレバ一年四百四十圓ノ勤勞收入アルトコロノ者ハ、四百
圓ノ程度ニ於テ課稅ヲ受ケナケレバナラヌガ、當時ノ決定案ニ依リマシタレバ約六百圓ノ
收入アル者ニシテ、初メテ四百圓ヲ標準トシテ、課稅ヲ受クベキ割合ニナツテ居リマス、明
治四十年ト今日ノ物價ト、私今日ノ方ガ正シク騰貴シテ居ルと思フ、國民ノ生計ハ今
日ノ方ガ正シク窮苦ヲ告ゲツ、アルト思フ、當時必ズシモ減稅ノ目的トセザル委員會ニ
於テ、四百四十圓ノ收入ヲ標準トシテ課稅ノ議決ヲシテ居ル、今日物價騰貴シテ生計
益、困難ヲ告ケル時ニ當ツテ、數字ガ間違ツテ居リマシタ、當時ノ六百圓ノ收入ヲ標準
トシテ課稅ノ目安ヲ定メテ居リマシタモノヲ、今日更ニ四百四十圓ニマデ引下ケテ標準ト
シテ課稅シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ致サレマシタル格段ノ理由如何、ソレヲ第二ニ問
フノデアリマス、此二點ニ對シテ政府若シクハ委員會長ノ明確ナル御説明ヲ仰ギタイ、或ハ當
時ノ委員會ナルモノハ、議決如何ハ必ズシモ重キヲ置クベキモノテナイト云フヤウナ御答辯
ガアルカモ知レヌガ、政府ノ要地ニ列シテ居ル人ヲ集メテ審查委員會ヲ組織シ、ソレヲ以
テ足リトセズ、貴衆兩院議員並ニ民間ノ實業家ヲ政府ノ要地ニ在ル者ニ併セテ町重

○田川大吉郎君 唯今委員會長ヨリ本案ニ關シテ明晰ナル御報告ヲ得マシテ、御
修正ノ趣旨ヲ能ク了解シマシタ、ソレニ直接ノ關係ヲ有スルヤ否ヤハ分リマセヌケレド
モ、本案ノ第一種稅ノ四及六ニ對シテ、條文ニ拘ラズ大體ノ質問ヲ致シタイノデアリマ

ナル審議ヲ盡サレ、而シテ決定サレ、而シテ其決定ガ國民減稅ノ希望ニ副ハナイト云フコト也、今日マデ遷延セラレテ居リマシタモノヲ、ソレヨリモ更ニ劣ナル程度ノ改正ニ於テ、今日減稅ノ名ヲ以テ此議會ニ提出セラレル所以ハ私ノ解スルニ苦ム所アル、故ニ此二點ニ就テ特ニ質問ヲ試ミマシタ

○政府委員菅原通敬君登壇

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマスルガ、詳シキコトハ委員會ニ於テ申述ベテ置キマシタ故ニ、極メテ簡單ニ此處デ申上ゲマス、資產所得ト勤勞所得トノ負擔能力ノ割合ハ、學者ニ依テ說テ異ニシテ居リマス、又國ニ依テ立法例ヲ異ニシテ居リマス、或ハ十分ノ四ノ割合トナリ、或ハ十分ノ六ノ割合トナリ、或ハモット近ク十ト八トノ割合ニナルト云フヤウナ説ハ、必ズシモ一定致シテ居リマセヌ、ソレハ又國ノ經濟ノ狀態ニ依ツテモ、異ナルノデアリマス、又租稅制度ノ異ナルニ依ツテモ變ツテ參ラナケレバナラヌデアリマス、ソレデ前ノ稅法調查會ニ於キマシテ審査致シマシタコトハ、アレモ必ズ一説ニハ違ヒナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ政府ト致シマシテハ、必ズシモ彼ニ依ラナケレバナラヌト云フ必然ノ理由ハ認メナイノデアリマス、ソレデアリマスガ故ニ勤勞所得ト資產所得トノ負擔割合ヲ定ムルニ當リマシテモ、今日ノ實際ニ適應シタルトコロヲ見込テ以テ定メマシタノデ、必ズシモ理窟ノ上カラ斯ウシナケレバナラヌト云フ必然ノ結果ニ出デタノデアリマス、今日マデハ勤勞所得ト資產所得トニ付テノ負擔割合ト云フモノヲ、區別致シテ居リマセシテ居リマス、今日初メテ之ヲ認メマシタ以上ハ、必ズシモ理窟ノ命ズル所マデ進ミマセヌデモ、幾分其負擔ヲ緩和シ和ラゲルト云フデケテ満足スルガ至當デアラウト思ヒマシタノデ、十分ノ一ト云フモノヲ控除スルコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ課稅最低限ヲ二百五十圓ニ止メマシタコトニ付キマシテハ、是モヤハリ見込ニ過ギナイノデアリマス、今日ノ財政狀態等ニ鑑ミマシテ今マデハ二百圓アルガ、先ヅ二百五十圓位マデ引上ゲテ置イタナラバ、一先ヅ幾分ノ負擔ヲ緩メルト云フコトニナルデアラウト云フ見込カラ割出シタノデアリマス、必ズシモ二百五十圓デナケレバナラヌト云フ必然ノ理由ハナイカト思ヒマス

○森田小六郎君 政府委員ニ質問致シマス、此改正案ノ第三十四條ノ末ニ、「又ハ帳簿及物件ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得」ト云フコトガアリマスガ、此法ヲ適用スル結果ハ非常ニ(ソレハ)削除シテアル」ト呼フ者アリ(ソレハ)私ハモウ一ツ伺ヒマス、削除サレテアルハ……

○議長(大岡育造君) 大聲ニ願ヒマス

○森田小六郎君 所得稅ノ徵收ニ付テ甚ダ不公平ナル事實ガ多クアルノデアリマス、現ニ或ル有名ナル元老ハ、僅ニ五十一圓ノ所得稅ヲ納メテ居ル、此ハ今ノ在朝在野ノ政治家ヲ通シテ最モ富裕ナル一人デゴザイマス、此人ハ麻布ノ山林ノ中ニ住ンデ居ル、麻布ニハ狸穴ト云フヤウナ妙ナ處モゴザイマスガ故ニ、敢テ此人ガ山林ニ坐ラヘルト云フコトニ付テ私ハ疑念ヲ抱キマセヌケレドモ、免三角元老トナリマシテ皇室ヨリ特殊ノ優遇ヲ受ケ、社會一般ノ人ヨリ特別ニ尊敬ヲ拂ハレテ居ルトコロノ人ガ、斯ノ如ク山林ニ坐ラヘテ、サウシテ僅カ五十一圓ノ所得稅ヲ納メテ居ル、是ハ現行所得稅法ニ對シテ治外法權ガ造ラレテ居ルノデアアル、斯ノ如キ不公平ナル事實ニ付テ、私ハ一應政府委員ニ其所以ヲ伺フノデアリマス

○政府委員菅原通敬君登壇

○政府委員(菅原通敬君) 各納稅者個々ノモノニ付キマシテ、ドウ云フコトニナツデ居

リマスト云フコトハ申上ケルコトハ出來マセヌ、政府ニ於キマシテハ成ベク調査ヲ周到ニ致シテ、公平ナル課稅ヲ致スコトヲ期シテ居リマス

○議長(大岡育造君) 本案ニ付テ御諮リヲ致シマス、本案ニ議會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數

○松田源治君 議長

○松田源治君 直チニ議會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 直チニ議會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直チニ議會ヲ開キマス

所得稅法中改正法律案 第二議會

○議長(大岡育造君) 二議會ニ於テハ増田義一君ヨリノ修正モ出テ居リマス、加藤君其他ヨリモ出テ居リマスカラシテ、先ヅ此二修正案ノ說明ヲ聽クコトニ致シマス、然ル後ニ討論致シタト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ提出ノ順序ニ依リマシテ、加藤政之助君

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ提出ノ順序ニ依リマシテ、加藤政之助君

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ提出ノ順序ニ依リマシテ、加藤政之助君

○加藤政之助君 諸君、此所得稅ノ改正案ハ極メテ重大ナル問題デアリマス故ニ、此案ガ一度政府ヨリ提出トナリマスルヤ、吾々ハ極メテ慎重ナル所ノ調査ヲ加ヘタノデアリマス、ソレデ其調査ヲ加ヘマシタ結果ガ、今日諸君ノ前ニ修正案トシテ提議スルトコロノモノニ相成ツタノデアリマス、而シテ此修正案ノ中ニハ多分ノ條項ガ唯今委員長ヨリ報告セラレタガ如キ部分ニ入リテ居リマス、故ニ其說ヲ再ヒ此處デ辯論シマスルコトハ、極メテ諸君ヲ煩シマスル譯デアリマスルカラ(然リ其通リ)ト呼フ者アリ)極ク簡略ニ要領ヲ述ベマス(贊成)「異議ナシ」ト呼フ者アリ)而シテ修正案ノ全體ハ此處ニ提出シテアリマスルカラ、諸君ガ御覽下サレバ宜シイ譯デアリマス、ソレデ吾々同志ノ此所得稅改正案ニ付テ修正ヲ加ヘマシタノハ、即チ唯今委員長ガ述べタ此現行法ノ第三條ノ第四法人ノ所得、是ニ付テ此度ノ改正案デ増稅セラレタ部分デケテ、全部現行法ニ引直スト云フ意味デアリマス、ソレカラ乙ノ株式ノ分モ「六十五」トアリマスノヲ「六十二半」ト修正ヲ致シタ譯デアリマス、ソレカラ其次ノ第二項モ、唯今委員長ガ述べマシタ通り二十人以下ノ合資會社株式會社、之ニ對シテ同一人又ハ親族間デ二分ノ一以上ヲ持ツタトキニハ、第一種甲ノ稅ヲ課スト云フコトヲ不當トシテ之ヲ削除致シタノデアリマス、ソレカラ其次ハ即チ修正案ノ第四條ノ四ノ「十分ノ一」ヲ「十分ノ二」ト改メマシタノデアリマス、是ハ即チ唯今田川君カラ質問セラレタルトコロノ條項デアアル、即チ勤勞ノ所得ト財產ノ所得ノ區別デアリマス、此問題ハ歐米ノ財政學者ノ中ニモ久シク問題トナツデ居リマシタ箇條、又我國ニ於テモ商業會議所其他此稅法調查會ノ問題ニモ上リマシタノデアリマス、而シテ其要領ハ此勤勞ノ所得ト云フモノハ極メテ薄弱ナ

モノテアル、財産ノ所得ハ納稅力ヲ多ク持ツテ居ルコロノモノテアル、故ニ此間ニ區分ヲ立テルコトハ相當ナリト云フコトハ、是ハ學者ノ定論デアリマス、但シ之ヲ應用スルニ當テハ、其國ノ租稅ノ制度現狀カ如何デアルト云フコトハ深く顧ミナケレバナリマセヌ、此度政府ハ此勤勞ノ所得ト財産ノ所得ノ間ニ「十分の一」即チ「割減」ノ差ヲ付ケヤウト云フコトヲ案ヲ提出セラレタノデアリマス、若シ此事ヲ無區別ニ置クト云フコトナラバ免モ角モ、此處ニ區別ヲ立テルコトデアラナラバ、學者ハ十分ノ四ト云ヒ十分ノ三ト云フ、ソレヲ僅ニ「十分の一」ノ區別ヲ立テルコト云フコトハ甚ダ穩當デアリマス、故ニ吾々同志ハ此區別ニ付テ、尙一割ヲ増シテ「十分之二」ヲ減ズルコトガ相當デアラウト斯様ニ吾々同志ハ考ヘマシテ、此處ニ修正案ヲ提出致シタノデアリマス、ソレカラ次ハ第四條ノ五第一項、是ハ政府ノ提出案ニ依リマスルト云フト、此千圓未満ノ所得ヲ持ツテ居リマスル者ハ極メテ細民ノ部ニ屬スル者デアル、租稅ノ負擔力ノ甚ダ薄弱ナルコロノ者デア、故ニ是ハ遞減法ヲ用ヒテ「千圓以下五十圓」「七百圓以下百圓」「五百圓以下百五十圓」斯様ニ階級ヲ設ケテ控除スルガ宜シト云フ改正案デアリマス、併ナガラ吾々ノ考フルコロニ依リマスルト云フト、千圓以下等シク納稅力ノ薄弱ナル細民ノ部分ニ屬スルトコロノモノテアル、ソレニ對シテ「五十圓」「百圓」「百五十圓」ト云フガ如キ階級ヲ設ケテ、此金額ヲ控除スルト云フコトハ手數モ煩雜デアリマスルシ、サマデノ必要ノナイコトデアラウ、寧ロ「千圓以下」ハ一定ニ「百五十圓」ヲ減ズルコトガ相當デアラウ、斯様ニ考ヘテ「千圓以下」ニ對シテハ一律ニ「百五十圓」ヲ控除スルト云フ修正案ヲ提出致シマシタノデアリマス、其次ハ主ナル箇條ハ即チ所得ノ最低限問題デアリマスルガ、此所得ノ最低限ニ付キマシテハ、歐米列國ノ間ニモ極メテ等差カアツテ、多キハ千五百圓マデ最低限シテ居ルデアアル、少キモ五百圓ト云フ譯デアリマス、然ルニ我國ハ三百圓ト云フ最低限ヲ設ケテ以來、今日ハモウ年所ノ經ルコト極メテ多クデアリマス、而シテ其間ニ物價モ騰貴シテ居リマス、若シ此物價騰貴ノ割合ヨリ言フナラバ、元ト三百圓ヲ最低限シタモノヲ今日五百圓七百圓ニ改メテモ相當デアラウト思ハル、位デア、然ルニ政府ノ提案ハ僅ニ五十圓ト云フ譯デアリマス、之ニ對シテモ成ベクハ五百圓マデ引上ゲタイノデアリマスガ、財源ニ多少ノ餘地ヲ顧ミナケレバナラヌト云フノデ、已ムヲ得ズ之ヲ四百圓ニ引上ゲタイノデアリマス、大體ヲ申シマシレバ本員等ノ提出致シマシタ修正案ハ右ノ如ク、其他ハ唯今委員長ノ述べタル所ノ修正ニ大分含マレテ居リマス譯デアリマス、故ニ細目ハ陳述致シマセヌガ、茲ニ私共ハ要領ヲ重ネテ述べナケレバナラヌデアリマス、政府委員ノ言フ所ニ依リマス——吾々此修正案ニ對シテ政府委員ノ言フ所ヲ聽キマス、ソレデハ租稅ノ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、ソレデハ徒ラニ此増シタ所ノモノヲ減ラシタト云フガケニナツテ、サウシテ其間ノ租稅ノ負擔ニ輕重ノアル——此輕重ノアルモノヲ均衡ヲ得セシムルト云フ途ガ開ケナイ、故ニ此修正案ハ極メテ根本トシテ吾々同志等ハ同意スル能ハザル所デアアル、斯様ニ政府委員等ハ申シテ居リマス、所ガ若シ根本ニ於テ此減稅ノ引下ヲシテ、ソレガ均衡ヲ保ツ譯ニ參リマセヌナラバ、政府ハ他ノ部分ヲ尙引下ゲタラバソレデ宜イ譯デアリマス、故ニ吾々同志等ハ決シテ是ハ差支ナイ點デアルト思フデアリマス、此ニ於テ私ノ最も不可思議ニ思ヒマスハ、此所得稅案ガ提出セラレテ以來既ニ十數日ヲ經過致シテ居リマス、而シテ此間ニ政友會ノ諸君ハ如何ナル行動ヲ執ラレタカト申シマスルト……（無用々々）ト呼フ者アリ

○議長（大岡育造君） 靜肅ニ……

○加藤政之助君 政府ノ提出案ニ對シテ修正ノ意見ヲ懷カレテ、サウシテ政府ト妥協交譲ノ態度ヲ執ラレタ、其妥協交譲ガ運バナカッタ爲メニ委員會ヲ開クベキモノヲ開カズニ、御流レニシタト云フコトガ數回アル、諸君、此政友會ノ諸君ハ現内閣ヲ以テ政友會ノ内閣ト云ハレタデアリマセヌカ（問題外）ト呼フ者アリ（然ラバ——然ラバ此案ニ對シテハ（無用々々）ト呼フ者アリ）然ラバ此案ニ對シテハ政友會内閣デアラナラバ、内閣ノ出シタル所ノ案、即チ政友會ノ案デナケレバナリマセヌ

○議長（大岡育造君） 加藤君ニ注意致シマス、加藤君……

○加藤政之助君 又政友會諸君ノ決議即チ内閣ノ案デナケレバナラヌ、即チ天ニ二日ナキガ如ク、此一政黨ノ内閣ニ二案アルコトヲ許サヌデアリマス（「無用々々」「脱線」ト呼フ者アリ、議場騷然）

○議長（大岡育造君） 先刻議長ガ宣告シタノハ先ツ修正案ノ説明ヲ聽イテ、然ル後ニ討論ニ入ルベシト云フデアリマス、御注意致シマス

○加藤政之助君 ソレデハ諸君——諸君ガ騷ゲバ幾ラデモ私ハ此席ニ殘ツテ居テ言フデアリマス

○議長（大岡育造君） 議場ノ整理ヲアルノミナラズ、現ニ説明者ニ向ツテ……（議場騷然）先ツ御聽キナサイ、説明ヲ聽イテ然ル後ニ討論ニ移ルト云フ約束デアアルカラ、演說者ニ於テ説明ダケニ止メルヤウニ御注意シマス

○加藤政之助君 説明ダケヲシテ居ル、説明ダケヲシテ居ルノニ、議長ガ徒ラニ演說者ノ言論ヲ止メテ居ル、而シテ議會ノ紛擾スルコトヲ御各メニナラヌハ怪シカラヌデアリマセヌカ（ヤリ賜ヘヤリ賜ヘ）「簡單」ト呼フ者アリ（併シ議長ガ此處デ辯論ハ許サナイ、唯修正案ノ趣意ダケヲ述ブルコトヲ許スデアアル、斯ウ言ヒマスカラ私ハ其通り言ウテ居ルデアリマス、ケレドモ強テ此上ニ辯論スルコトヲ止メニシテサウシテ趣意ダケヲ述ブルニ止メマス、要スルニ此案ニ對シテハ吾々ハ政府案ニ對シテハ同意スルコトガ出來ナイ、右ノ如キ事情ヲ以テ同意スルコトガ出來ナイデアリマス、宜シク諸君ハ御研究下サルコトヲ希望致シマス

（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 增田義一君

（增田義一君登壇）

（拍手起ル）

○增田義一君 簡單ニ修正意見ヲ述べマス、此本案ニ對シマシテハ、第一法人ノ所得ニ對シテ今委員長御報告ノ、ニ大體同意ナノデアリマスガ、唯合名會社合資會社ノ率ガ多少違ヒマス、是ハ修正案トシテ議長ノ手許ニ出シテ置キマシタカラ、餘リ率ノコトハ申シマセヌ、唯多少違フ、次ニ株式會社ハ同意論デアリマスカラハハ申ス必要ハナイ、第二勤勞所得ニ對シテ十分ノ二控除シタイ、丁度是ハ加藤君ト偶然ニモ議論ガ一致シタヤウデアリマスガ、是ハ勤勞所得ハ言フ迄モナク財產所得ト違ヒマシテ、勤勞者ハ病氣又ハ休職ノ場合モアリマスカラ、多少貯蓄ノ用意ガ要リマス、仍デ出來得ルダケ餘計控除シテヤリタイ、一割ハ餘リト云ヘバ氣ノ毒デアアルカラ一割引クト云フデアリマス、第三生活費ノ控除點デアリマス、是ハ修正案ニモ私ハ贊成シナイ、反對デスソレハ七百圓以下ノ場合ハ二百圓ノ生活費ヲ引イタル、千圓以下ノ場合ハ二百五十圓引イタル、其理由ハ今日ノ物價騰貴シテ居ル時代デアリマスカラシテ、以前トハ違ヒマシテ此生活費ノ程度ハモウ少シ餘計引イタルガ宜イト云フノニ過ギナイデアリマス、ソレカラ第四所

○議長（大岡育造君） 增田義一君

（增田義一君登壇）

（拍手起ル）

○增田義一君 簡單ニ修正意見ヲ述べマス、此本案ニ對シマシテハ、第一法人ノ所得ニ對シテ今委員長御報告ノ、ニ大體同意ナノデアリマスガ、唯合名會社合資會社ノ率ガ多少違ヒマス、是ハ修正案トシテ議長ノ手許ニ出シテ置キマシタカラ、餘リ率ノコトハ申シマセヌ、唯多少違フ、次ニ株式會社ハ同意論デアリマスカラハハ申ス必要ハナイ、第二勤勞所得ニ對シテ十分ノ二控除シタイ、丁度是ハ加藤君ト偶然ニモ議論ガ一致シタヤウデアリマスガ、是ハ勤勞所得ハ言フ迄モナク財產所得ト違ヒマシテ、勤勞者ハ病氣又ハ休職ノ場合モアリマスカラ、多少貯蓄ノ用意ガ要リマス、仍デ出來得ルダケ餘計控除シテヤリタイ、一割ハ餘リト云ヘバ氣ノ毒デアアルカラ一割引クト云フデアリマス、第三生活費ノ控除點デアリマス、是ハ修正案ニモ私ハ贊成シナイ、反對デスソレハ七百圓以下ノ場合ハ二百圓ノ生活費ヲ引イタル、千圓以下ノ場合ハ二百五十圓引イタル、其理由ハ今日ノ物價騰貴シテ居ル時代デアリマスカラシテ、以前トハ違ヒマシテ此生活費ノ程度ハモウ少シ餘計引イタルガ宜イト云フノニ過ギナイデアリマス、ソレカラ第四所

○議長（大岡育造君） 增田義一君

（增田義一君登壇）

（拍手起ル）

○增田義一君 簡單ニ修正意見ヲ述べマス、此本案ニ對シマシテハ、第一法人ノ所得ニ對シテ今委員長御報告ノ、ニ大體同意ナノデアリマスガ、唯合名會社合資會社ノ率ガ多少違ヒマス、是ハ修正案トシテ議長ノ手許ニ出シテ置キマシタカラ、餘リ率ノコトハ申シマセヌ、唯多少違フ、次ニ株式會社ハ同意論デアリマスカラハハ申ス必要ハナイ、第二勤勞所得ニ對シテ十分ノ二控除シタイ、丁度是ハ加藤君ト偶然ニモ議論ガ一致シタヤウデアリマスガ、是ハ勤勞所得ハ言フ迄モナク財產所得ト違ヒマシテ、勤勞者ハ病氣又ハ休職ノ場合モアリマスカラ、多少貯蓄ノ用意ガ要リマス、仍デ出來得ルダケ餘計控除シテヤリタイ、一割ハ餘リト云ヘバ氣ノ毒デアアルカラ一割引クト云フデアリマス、第三生活費ノ控除點デアリマス、是ハ修正案ニモ私ハ贊成シナイ、反對デスソレハ七百圓以下ノ場合ハ二百圓ノ生活費ヲ引イタル、千圓以下ノ場合ハ二百五十圓引イタル、其理由ハ今日ノ物價騰貴シテ居ル時代デアリマスカラシテ、以前トハ違ヒマシテ此生活費ノ程度ハモウ少シ餘計引イタルガ宜イト云フノニ過ギナイデアリマス、ソレカラ第四所

○議長（大岡育造君） 增田義一君

（增田義一君登壇）

得額ノ免除點ハ、修正案デハ四百圓ト云フコトデゴザイマスガ、是ハ五百圓ニシタイ、其事ハ此所得稅ハ御承知ノ如ク明治二十年三月十九日勅令第五號デ出タノデアリマス、當時モ最低度ハ三百圓デアッタ、其時ハ銀貨本位デ、其後金貨本位ニ變テノデアリマスカラ言換ヘレバ其當時ノ三百圓ハ少クトモ五六百圓ニシテヤナケレバ辻褄ガ合ハヌ譯デアル、然ルニ僅ニ二百圓ダケ上セタト云フコトハ、如何ニモ今日ノ生活狀態ノ激變ニ對シテ不釣合デアル、デ五百圓以下ハ免除スル、五百圓以上ニ向ッテ課稅スルト云フデアリマス、其次ニ第五ノ所得稅額ノ決定權ハ政府ニアルノヲ、是ハ所得稅調查委員會ニモツト權力ヲ持タシタイ、ト申シマスノハ或ハ今日此所得稅額ノ決定權ヲ、所得稅調查委員會ニ任スコトハ危險デハナイカト云フ御説ガアルカモ知レマセヌガ、權能ノナイ調查委員會デアルカラ、比較的ニ相當ノ人ガ此委員ニナルコトヲ避ケルガ、之ニ相當ノ權能ヲ與ヘレバ立派ナ人ガ調查委員ニナッテ來ルニ違ヒナイ、素ヨリ所得稅ハ申告稅デ、英國ニ在テハ名譽稅デアル、之ニ向ッテ苛酷ノ誅求ヲスルコトハ、此稅ノ性質トシテ許サヌデアル、仍テ斯様ナ稅ノ性質ハ、調查會ニ重キヲ置クガ適當デアル、而シテ其調查會ノ組織等ニ付テハイロ／＼現行ノ條文ニ對シテ改正ガアリマスガ、其點ヲ一々讀ミマスト煩ハシイ、此趣意サヘ徹底スレバ條文ノ修正ハ議長ノ手許ニ出テ居リマスカラ御解リニナルコトデアリマス、以上五箇條ヲ修正意見トシテ提出致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 石橋爲之助君ヨリ更ニ一案ガ出テ居リマスカラ、其說明ヲ聽キマス、石橋爲之助君

(石橋爲之助君登壇)

○石橋爲之助君 本員ノ提出シマス修正ニ、前二君ノ修正ト重複セザル部分ニ於テ極ク簡單ナルモノガ一ツデアリマス、ソレハ第五條ノ初メニ「第三種ノ所得ニシテ」ト云フ文字ガアルノヲ、此九字ヲ削ルト云フコトデアリマス、其主意ハ本案ノ精神ハ個人ヨリモ法人ニ優遇ヲ與ヘテ、稅率ヲ低クシテアルト云フ一ノ事實ガアリマス、ソレカラ總テ課稅ハ公平ニ均衡ヲ保ツト云フコトガ、又別ノ理由デアリマス、其二ツノ點カラ考ヘテ見マスルト、茲ニ第五條ニ列舉シテアリマス所得稅ノ免除ニ係ルトコロノモ、ノ中ニ、外國デ營業シテ居ルトコロノ個人ハ免稅ニナルデアリマスケレドモ、法人ハ此特典カラ除カレテ居ルト云フコトガ原案デアリマス、是ハ公平ヲ失シテ居ルト云フ事、ソレカラ内國デハ個人ヨリモ法人ノ方ニ優遇ヲ與ヘテ居ルノニ、獨リ外國ノ營業ニ關シテハ個人ニ免稅ノ特典ヲ與ヘテ置キナガラ、法人ニハ與ヘナイト云フノハ是ハ主義ガ一貫シナイト云フ事、ソレト尙進シテハ外國貿易ハ益々獎勵シテ、資本ノ大キナモノニ盛ニ營業セルト云フ方針ヲ執ラナケレバナラヌノニ、其個人ノ事業ヨリモ大ナル法人ノ事業ニ課稅ヲシテ、其進歩ヲ阻碍スルト云フコトハ、國運ノ進歩ヲ妨ゲルト信ズルデアリマス、是等ノ理由ニ依テ個人モ法人モ同シク外國デノ營業ニ對シテハ、免稅ノ特典ヲ與ヘルコトガ必要ト信ズルノデ、九字ヲ削除スルト云フ案ナノデゴザイマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 說明ハ修正案提出ノ順次ニ一應濟ミマシタカラ、是ヨリ通告順ニ發言ヲ促シマス、渡邊修君

(渡邊修君登壇)

○渡邊修君 諸君、私ハ委員長ノ報告ニ贊成スルモノデアリマス、簡單ニ理由ヲ述ベ

マシテ御清聴ヲ煩ハシマス、此案ハ最モ眞面目ナリ且ツ重大ナル案デアリマシテ、別段黨派ノ問題デモナイト考ヘマスカラ、諸君ハ御冷靜ニ暫時御清聴ヲ煩ハシタイノデアリマス、減稅ノ稅制ノ整理ハ多年ノ問題デゴザイマシテ、且ツ國民一般ノ希望スル所デアリマス、故ニ今茲ニ減稅案ニ付キマシテ討論スル機會ニ到達致シマシタト云フコトハ會心ノ至リデアリマシテ、定メテ國民モ歡迎スルコトデアルト信ジテ居ルノデアリマス、曩ニ西國寺内閣ハ減稅ノ稅制ノ整理ヲナスコトヲ、議會ニ公約サレマシタカラシテ、同内閣ニシテ今日迄持續シテ居リマシタナラバ、必ズ見レベキノ整理案ヲ議會ニ提出サレタコトデアルト信ジマスル、御承知ノ如ク不幸ニシテ昨冬同内閣ガ仆レマシテ、桂内閣ガ代リテ成立シタノデアリマス、桂内閣ニ於テモ何カ此減稅ニ關シテ提案サル、コトデアルト考ヘテ居リマシタガ、同内閣ハ何等減稅ニ關スル提案ノ無カッタト云フコトハ、吾々ノ意外トスルトコロデアリマシテ、且ツ最モ遺憾トスル所デアリマス、然ルニ現内閣西園寺内閣ノ遺志ヲ繼ガレマシテ、成立日尙淺ク多忙ノ際ナルニモ拘ラズ國論ニ從ヒマシテ(大聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ(減稅案ヲ提出シタル其政府ノ心事ニ對シマシテハ、吾々ハ之ヲ諒トスルノデアリマス、本所得稅法ハ負擔ヲ輕減スルト云フ事ト、均衡ヲ保ツト云フ此二ツノ精神ヨリ成立ッテ居ルノデアリマス、故ニ大體ニ於キマシテハ何人モ異議ナキ所ト思フノデアリマス、然レドモ其條文中ニ右ノ二大目的ニ適合シナイトコロノ點ヲ認メタコトガアリマスニ依ッテ、吾々ハ之ニ適當ノ修正ヲ加ヘタルコトハ、唯今委員長ノ報告サレマシタ通りデアリマス(政府案ヲ政府黨ガ修正スルコトガアルカ)ト呼フ者アリ)又吾々ノ修正ニ於キマシテハ社會政策ヲ考ヘルト同時ニ、產業政策經濟政策ニモ留意シテ居リマシテ、極メテ穩健ナル修正デアルト信ズルノデアリマス、然ルニ唯今加藤君増田君等ヨリ御修正案ガ出テ居リマスルガ、此割引ノ額ガ一割ニテハ少イカラ之ヲ一割ニスル、又最低額ノ四百圓ハ少額ナルニ依リ之ヲ五百圓ニ上セタイト云フ御議論ヲ拜聽シタノデアリマス、吾々モ成ベク稅ノ減スルコトハ希望スルノデアリマスカラ、出來得ベク五割引クモ可ナリ、最低千圓トスルモ宜シイ、多々益、可ナリデアリマスケレドモ、凡ソ物ニハ程度ガアル、又時ノ事情ヲモ考慮致シマシテ、常識ヲ以テ是ハ判斷シナケレバナラヌト思フノデアリマス、徒ニ行ハレザルコトヲ唱ヘテ難キヲ政府ニ責メルト云フコトハ、眞ノ國家ヲ思フ人デナイト信ズルノデアリマス、諸君、委員長ノ報告ノ如ク致シマスルト云フト、現在ヨリモ法人即チ第一種ノ合資合名會社ノ所得カラシテ、三万七千六百餘圓ヲ減ズルトナルノデアリマス、又第三種ノ即チ個人ノ所得稅、是ハ政府ノ原案ガ六百五十万九千五百幾ラ減ズルト云フノデアリマシテ、唯委員長ノ報告ノ如ク最低ヲ三百五十圓ヨリ四百圓ニ引上ゲマシタ爲ニ、凡ソ百八万圓ヲ減額スルノデアリマスカラ、個人所得稅ノ減額ガ七百五十八万、法人ノ分ヲ加ヘマスルト云フト七百六十二万七千七百餘圓ニ相成ルノデアリマス、昨年國民黨諸君ヨリ提出サレマシタル改正案ハ約七百六十二万圓ヲ減ズルト云フトデゴザイマシタカラ、昨年國民黨諸君ヨリ提出サレマシタル額は同シデアリマス、本年提出サレマシタルハ撤回ニハナリマシタガ、凡ソ九百万圓ヲ減ズルト云フコトデアッタサウデアリマスカラ、其九百万圓ト致シマシテモ二百萬圓ノ相違デアリマス、故ニ此七百六十餘萬圓ノ減稅ニ政府ノ同意致シマシタルト云フコトハ、政府モ餘程奮發シタコトデアルト思フ、此上ニ減額ヲ強ユルト云フコトハ今日ノ場合、今日ノ事情ニ於テハ少シク無理

ナ注文アルト思ヒマス、又最低ヲ四百圓ト致シタルコトハ、現在ヨリ百圓ヲ上セタノミデアリマシテ、一見甚ダ少ナキ感シハ致シマスケレドモ、細カニ計算ヲ致シマスルト現在ヨリハ餘程減稅トナルデアリマス、例ハ四百四十圓ノ俸給取アルト致シマス、是カラシテ一割ヲ引キマスカラ殘リが二百九十六圓ニナリマス、故ニ此四百四十圓ノ俸給取ハ納稅ノ資格ハナシ、是等ハ即チ免稅ニナルデアリマス、又五百圓ノ所得アルモノハ一割ノ即チ五十圓ヲ引キ、尙其中カラ百五十圓ヲ引キマスカラ、殘が二百圓ニ對スル千分ノ二十五、即チ七圓五十錢ノ所得稅ヲ拂フニ過ギヌノデゴザイマス、五百圓ノ俸給取ハ五百圓ノ所得ニ對シテ七圓五十錢ノ所得稅ヲ拂ヘバ濟ムト云フコトニナッテ居リマスカラ、從來ニ比シマスレバ餘程輕クナッテ居リマス、政略上カラ言ヒマシタラ本案ノ如ク種々ノ控除法ヲ設ケズシテ、單ニ最低四百五十圓或ハ五百圓トカ云フ風ニ規定ヲ致シマシタ方ガ、俗受ハシタカモ知レヌ、チヨット見テ大ニ減ツタヤウニ見エマスカラ俗受ハシタカモ知レヌガ、種々ノ控除法ヲ置ケマシテ、本案ノ如ク致シマシタルコトハ寧ロハ正直ナヤリ方デアリマシテ、少額所得者ノ便利ヲ圖ラタル所ノ親切ヨリ出デタルモノト認ムルデアリマス、是等ニ付テモ諸君ノ注意サレンコトヲ望ミマス、吾々モ理想ヨリ致シマスレバ本案ニ満足スル者デアリマセヌ、併ナガラ何事ニ付テモ理想通りニ行ハレルモノデアリマセヌ、殊ニ政治ハ實行ニ在リ、徒ラニ行ハレザルコトヲ大言壯語シテ一時ノ快ヲ貪ツテ能事ナリトスルモノデアリマセヌ、吾々ハ今日ノ場合ハ先ヅ委員長ノ報告通りニシテ、之ニ甘シズル者デアリマス、若シ過大ノコトヲ求メマシテ行ハレナイト云フコトニ相成リマスレバ、是ハ此蜂取ラズニ終リマシテ、國民ハ必ズ失望スルコトデアルト思ヒマス、殊ニ所得稅ハ數年前ヨリノ懸案トナッテ居リマシテ、國民悉ク切望シテ居ル問題デゴザイマスカラ、諸君ニ於キマシテモ眞面目ニ公平ニ冷靜ニ考ヘラレマシテ、先ヅ此邊ノ所ニ折合ウテ速ニ減稅ノ實行ヲ見ルヤウニ致シタイモノデアリマス、是即チ親切ニ國事ヲ議スル所以デアルト信ジマス、此所得稅法案第一著ト致シマシテ、將來財政ノ許ス限リ、漸次ニ一般ノ稅制整理ヲ行ヒマシテ國民ノ負擔ヲ減ジ、合セテ多年ノ問題ヲ解決センコトヲ希望スル次第デゴザイマス、何卒諸君ニ於キマシテモ滿場一致ヲ以テ、委員長ノ修正通り御贊成アラシコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 町田忠治君

(町田忠治君登壇)

○町田忠治君 我ハ加藤君ノ修正案ニ對シテ極ク簡單ニ贊成ノ趣意ヲ申述べマス、實ハ此所得稅法改正法案ハ此議場ニ於キマシテ吾々同志ノ趣意ヲモ充分申上ケ、又吾々ノ意見ト反對シタ諸君ノ御高見モ充分承リ、又政府當局者ガ此法案ヲ出シタ趣意對シマシテ、國民トシテ吾々ガ利害ニ付テ充分研究セナケレバナラヌ要點ヲモ、此際充分討論シテ國民ヲ満足セシメタイ意思ヲ持ッテ居リマス、而シテ吾々同志カラ提出シマシタ修正案ハ、二四日以前ヨリ既ニ新聞紙上ニ詳シク載セテアリマス、故ニ議員諸君其他一般社會ノ斯カル問題ニ注意セラル、諸君ハ充分御承知ノ告アル、然ルニ不幸ニシテ此所得稅調查委員會タル吾々委員ガ、再三再四會合ヲ致シマシタガ、此修正案ノ要領ニ達スル前ニ、數々委員會ガ流會ニナルデアアル、而シテ昨日マデハ此所得稅調查委員會ハ無イ意味ヲ以テ今日參リマシタガ、今朝ニ至ッテ突然委員會ガ始マリマシテ、サウシテ僅カ一

時間ハカリノ間ニ此修正案ガ出來テ、先刻委員長ノ報告サレタ通りノ次第デアリマス、甚ダ其委員會ノ經過ニ於テ吾々ガ充分要領ヲ述ベ得ナカッタノハ、遺憾デアリマスガ、茲ニ諸君ト共ニ大ニ喜ブベキコトハ、委員長ノ報告サレタ重ナル箇條ノ要點ハ、吾々同志ガ數日前ニ研究シテ修正案ヲ作り、既ニ世ノ中ニ公表シタ修正案ト大抵ノ主ナル箇條ニ於テハ相違ガナカッタ、此點ハ吾々ガ諸君ト共ニ大ニ喜ブ點デゴザイマス、(ヒヤ／＼)ト呼ビ贊成シ給ヘト呼フ者アリ)而シテ或ハ合名合資ノ箇條ニ於ケル二十八以下ノ株式ノ關係トカ、斯ル箇條ニ於テ世ノイロ／＼非難攻撃ヲ受ケマシタ點ハ、先刻委員長ノ報告通り修正ニナリマシタカラシテ、此修正ヲ出シタ元ハ吾々同志ニアルカ(笑聲起ル)國民黨ニアルカ、或ハ政友會諸君ニアルカ、斯ル問題ハ姑ク取リマシテ國民全體ノ上カヲ見レバ、斯ル修正案ガ出來タノハ……

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○町田忠治君 吾々ハ諸君ト共ニ極メテ喜ブトコロデゴザイマス、而シテ此處ニ唯今ノ委員長ノ報告ニ對シテ渡邊君ノ御贊成演說ガアリマシタ中ニ、私ノ聽取リ兼ネマシタデアリマスガ、或ハ私ノ聽取リ兼ネマシタノカモ知リマセヌガ、此法案ニ於テ最モ必要ナトコロノ此法律ノ實施ヲ大正二年ヨリスルト云フ此大問題對シテ、政府ガ不同意ヲ表サレタ、此點ニ對シテ委員長ノ報告ニ對シテ贊成演說ヲサレタ渡邊君ガ一言ノ御話ノナカッタノハ、私ノ遺憾トスルトコロデゴザイマス(拍子起ル)「吏黨ノ本領ナリ」ト呼フ者アリ(申上ケル迄モナク此負擔ヲ輕減スルト云フ問題ハ國民ノ一般ノ希望デアリマシテ、殆ド政黨各派ニ於テモ異論ノナイトコロデゴザイマス、一日モ早ク之ヲ實施スルノハ國民ノ負擔ヲ輕減スル上ニ於テ最モ必要ナル、而シテ何ガ故ニ今年カラ實施スルコトガ出來ナイカト云フト、政府當局者ハ財源ハ本年ハ無イカラ來年ニスル、斯ウ仰シタルニ違ヒナイ、然ルニ先日來政府當局者ガ言明サル、トコロニ依レバ、本年度ニ於テモ出來ルケ之ヲ儉約シテ、財源ノ出來ルケ多クテ產ムコトヲ計ルト云フ御說明デアッタ、吾々ハ本案ヲ出シマスルニ殆ド所得稅ノ向テハ八百萬圓ト云フ輕減スル基礎ヲ置キマシタノデゴザイマス、而シテ吾々ノ出シマシタ八百萬圓ト云フノハ、決シテ無責任ナ考ヲ以テ出シタノデハゴザイマセヌ、御承知ノ通り吾々ノ提出シマシタ豫算修正案ハ、經常歲出ノ上ニ於キマシテ並ニ臨時歲出ニ於キマシテ、總計殆ド五千二百四十萬圓ノ節約ヲシテ居リマス、而シテ此節約タルヤ、或ハ借入金、或ハ公債ト云フ臨時ノ歲入ノ種類ノモノヲ除キマシテ、實際國家永遠ノ財源トナルベキモノ、中カラ節約シタ金額ハ五千二百四十萬圓ニ上ッテ居ルノデゴザイマス、而シテ其臨時部ニ於テ事業其他ノモノニ向ッテ支出致シマシタ點ヲ除キマシテ、所謂經常部ノ節約ニ依テ產ミ出シタ金額ガ二千二百四十萬圓デゴザイマシテ、是ハ今後長ク財源トシテ用ユルコトノ出來マスモノデアアル、故ニ吾々ハ此二千二百四十萬圓デ民力休養租稅輕減ノ方面ニ用ユルト云フ案デゴザイマシテ、其二千二百四十萬圓ノ中八百萬圓ヲ以テ此所得稅ノ輕減ヲ當テタノデゴザイマス、若シ政府ノ言明セラレルガ如ク、當年大正二年度ニ於テハ出來ルケヤルガ、其金額ヲ明言スルコトガ出來ナイ、毎々政府當局者ハ言明セラル、ガ、若シ當年ノ歲計ニ於テ節約スルガ金額ガ明言ガ出來ヌト仰シタルナラバ、來年ノ歲計豫算ニ於テ少クトモ是ダケノ金額ヲ節約スルト明言セラレ理由ガ何處ニアル、當年ハ金額ノ明言ガ出來ヌ、併ナガラ來年ニ

ナレバ明言が出來ルト云フ理論ハ果シテ生ズルノデゴザイマセウカ、吾々此處ニ八百萬圓ノ節約ヲ所得稅ニ加ヘルト云フ其出所ハ、唯今申シマスル通り經常歲出ノ上ニ於テ二千三百萬圓ヲ節約シテ、其一部ヲ所得稅ニ用ユルト云フ責任アル計數ノ上カラ割出シテ申上アルノデゴザイマス、私ハ此點ニ於テ相成ベクハ、政友會ヲ代表セラレテ此壇上ニ立タレタ渡邊君モ、大正二年度ヨリ實施セラレルト仰シタル以上ハ、吾々ト一緒ニ諸君ノ基礎ノ上ニ立タレタ現内閣ニ向ッテ、ヤハリ此大正二年度ヨリ實施スルコトヲ渡邊君ニ依ッテ私ハ請求サル、ガ如何カト思フ（拍手起ル）（出來ナイコトハ望メナイ）ト呼フ者アリモウツノ問題ハ、勤勞所得ノ一割ヲ吾々同志ハ一割ニシタノデゴザイマス、此點ハ先刻他ノ議員カラ租稅調查會ノ經過ナドモ御話ニナリマシテ、其計算ノ生ジテ來マシタ根本ニ對スル政府委員トノ御討論モアツタヤウデゴザイマス、私モ所得稅ノ調查委員會ニ於テ政府ガ果シテ勤勞所得ニ向ッテ控除スルト云フ考ガアルナラバ、少ナクモ唯其名前ヲ美ニシテ其實何ノ效能ガナイ位ノ金額デハ宜シカラヌ、ヤル以上ハ社會政策ノ一端トシテ勤勞所得ノ幾分ヲ除クト云フ考ヲ立ツタ以上ハ、其實行ヲ幾分タリトモ現ハシ得ラレバケノ金高ニシタイト云フ考ヲ以テ、屢々政府委員ト交渉シマシタ、然ルニ政府委員ハ此點ニ對シテ極メテ其立論ノ根據ヲ二重三重ニ取ラレテ、先ツ要領ヲ得マセヌノデアリマシタガ、私ハ此處ニ一言此趣意ヲ明カニシテ置キタイノハ、勤勞所得ヲ控除スル以上ハ、其人ガ老年ニ達シタ後ニハ長ク一生ヲ相當ナ生活狀態ノ下ニ暮シテ行クト云フ趣意カラ、社會政策ノ上カラ此ノ勤勞所得ノ控除ガ出テ居ルノデス、然ルニ若シ原案ノ如ク、假リニ勤勞ノ一割ヲ除クト云フコトニシマスルト、日本ノ勤勞者ハ歐羅巴ノ勤勞者ニ對シテ四倍ノ長イ時間ヲ働カナケレバ、老後ノ生活ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フ結果ニナル、御承知ノ通り先刻政府委員モ御話ノ通り、私共ノ知ルトコロデハ、大抵西洋デハ二十年乃至二十五年ヲ以テ勤勞所得ヲ控除スベキ金額ヲ生ズル基礎トシテ居ル、即チ資本還元法ニ依リマスルト先ヅ二十五年間此方法ニ依リマシテ、初メテ老後ノ相當ナ生活ガ出來ルト云フ一種ノ社會論カラ割出シタノデアルガ、此控除法ニ依リマスルト日本ノ勤勞者ハ歐米ノ勤勞者ト異ッテ、百年乃至百二十年モ勤勞シテ居ラヌト老後ノ慰安ガ出來ナイト云フ甚タ其名前ガ美ニシテ實ニ副ハヌト云フ私ハ恐レテ持シテ居リマスカラ、少クモ先ヅ十分ノ二位ガ相當デアラウ、斯ウ云フ考ヲ有テ居ル、本案ニ對シテ最モ議論ノ多キ箇所ハ、凡ソ滿堂ノ諸君ハ吾々ト同一主義ヲ執ツタ議論ニ歸著サレマシタカラ、最モ議論ノ多カルベキ所得稅法案ハ大ナル討論ヲ用ユルニ及ビマス、從ッテ私ノ申上ケヤウト思フ大キナ問題ハ、殆ド討論ノ必要ハナクナリマシタカラ、私ハ最モ重キヲ大正二年度ヨリ之ヲ實施スベキコトデアルト云フ趣意ヲ述ベテ、此壇ヲ降リマス

○議長（大岡育造君） 小久保喜七君

（小久保喜七君登壇）

○小久保喜七君 委員長ノ報告ト渡邊君ノ贊成演說ガ極メテ詳細デゴザイマシタカラ、私ハ簡單ニ本案贊成ノ理由ヲ述ベ見タイと思ヒマス、本案ハ第一ニ此案ノ歴史カラ申シマシテ、即チ此二十六議會ヨリノ懸案デアルト云フ上カラ見マシテモ、又今日ノ民間ノ重稅ニ苦シテ居ルト云フ上カラ見マシテモ、亦政費節約ヲ聲明致シマシタ政府ノ

誠意ノ上カラ見マシテモ、ドウシテモ本期議會ニ於テ私ハ通過實行ヲ見ナケナラヌ案デアルト云フコトハ深く信ジテ居ルノデゴザイマス、若シ是ガ本期議會ニ於テ通過實行ヲ見ナケナラバ、獨リ國民ノ疾苦ヲ救フ能ハザル所デハナイ、深ク立法院ニ向ッテ國民ノ信用ヲ失フノデアラウト私ハ信ジマス、故ニドウシテモ今期議會ニ於テ通過實行ヲシナケレバナラヌ案デアルト信ジテ居リマス、ソレニ付テ之ヲ實行スルニ付テハ多少財政狀態及他ノ營業稅等ノ關係モアル、ナクテハナルマイト私ハ思フ、サウシテ本案ヲ見マスルニ委員長ノ報告ニ依リマスルモ、能ク財政狀態ヲ察シ、又他稅トノ關係モ能ク推察ヲ致シマシタ、誠ニ穩健ナ案ト私ハ考ヘテ居リマス、而シテ其減ズルコロノ額モ七百六十萬圓、サウシテ最低限度ヲ引上ゲテ四百萬圓トシタト云フガ如キ、少額納稅者ノ率ヲ引下ゲタト云フガ如キ、千圓以下ノ少額納稅者ノ割引ヲシタト云フガ如キ、又勤勞所得ニ向ッテ割引ヲシタト云フガ如キ、超過額累進率ヲ拵ヘタト云フガ如キ、又總テ課金ニ關シマスル法文ヲ取除イタト云フガ如キ、又ドウシテモ是ハ大正二年度ヨリ行フベシト云フコトヲ御決議ニナタト云フ點ニ付テハ、實ニ私ハ此案ヲ通過致スト云フコトハ目下ノ最大急務デアルト云フコトヲ私共ハ信ズル、サウシテソレデアルトニ漫ニ私ハ大額ノ減稅ヲシテ、而シテ是ガ實行ヲ見ザルト云フ點ニ至ッテハ、甚ダ私ハ遺憾ト致スノデゴザイマス、茲ニ私ガ想ヒ起シマスルノ二十六議會ニ當リマシテ、尾崎行雄君ハ地租八分減ヲ維持セラレテ、反對黨ノ諸君ニ向ッテ諸君ハ描キタル美酒佳肴ヲ國民ノ前ニ提供セント欲スルモノデアアル、自分ハ飢ヘタル國民ニ向ッテハ饌ナリト雖モ實際ノ米麥ヲ與ヘントスルモノデアルト云フ御演說ヲナサレマシタガ、深ク私ハ感嘆致シテ居ルノデゴザイマス、即チ經世ノ士ハ此ノ如クデナクテハナラヌト云フコトヲ今日ニ於テモ敬服ヲ致シテ居リマス、若シ二十六議會ニ於テ地租ノ輕減ヲシナケナラバ、今日マデ輕減スル時機ハナカッタト私ハ思ヒマス、幸ニ尾崎君ノ論ガ勝リ制シテ彼ノ時ニ斷行シタカラ、眞ニ好結果ヲ得タノデアル、私モ尾崎君ノ此比喩ヲ以テ本案維持ノ材料ニ供サウト思フノデゴザイマス、即チ國民黨ノ諸君ハ描キタル美酒佳肴ヲ國民ノ前ニ提供セントスルモノデアアル、私共實利實益ヲ國民ノ前ニ提供セントスルモノデアアル、サウシテ新政黨ノ諸君ニ向ッテ私ガ申上ケタイト云フコトハ、桂内閣ノ初メニ當ッテ我黨ガ質問ヲ致シマシタ其中ニ、現内閣ハ減稅ノ意味ニ於ケル稅制整理ヲ本期議會ニ提出シ、大正二年度ヨリ實行セントスルカ如何ト云フ質問ニ對シテハ、桂内閣ハ其意ガナイト云フ意味ノ答ヲシタノデアアル、此時ニ當ッテ諸君ハ大喝采ヲ以テ迎ヘラレタト私ハ思ヒマス、然ルニ大正二年度ヨリ將ニ行フベシト云フ案ガ出テ居ル以上ハ、諸君ハ要スルニ拾ヒ物ヲシタト同ジコトデアアル、大抵ノトコロハ御我慢ナスツテ、僅カ二十萬圓四十萬圓ノ相違デアアルカラ、諸君ハ大正二年度ヨリ減稅ガ行ハレルト云フノハ實ニ拾ヒ物デアアルカラ、失禮デハゴザイマスガ修正案ヲ撤回シテ是ニ御同意ニナッテハ如何、私ハ謹デ茲ニ新政黨ノ諸君ニ勸告ヲ致スノデゴザイマス、本案維持ノ理由ハ此ノ如クデゴザイマス

○議長（大岡育造君） 高木益太郎君

（高木益太郎君登壇）

○高木益太郎君 我黨ハ所得稅ノ上ニ於テ……（「簡單々々」「謹聽々々」ト呼フ者アリ）

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ

○高木益太郎君 我黨ハ一千万圓ノ減稅ヲシタイト云フ考デアル、吾々ハ徵稅ノ主義ノ上ニ於テ、從來政府ノヤリ方ト根本義ヲ異ニシテ居ル、從來政府ノヤリ方ハ國民ニ對シテ苛斂誅求ノミヲシテ居ル、歐羅巴ノ政府ニ於テハ租稅ヲ以テ或ハ國民ノ貯蓄心ヲ獎勵スル手段トナシ、或ハ租稅ヲ以テ工商業發展ノ政策ノ一ニ加ヘ、之ニ深ク留意スルコトコガ多クデアアル(笑聲起ル)笑ツテ居ルケレドモ、彼ノ露西亞ノ有様ヲ見マシテモ、露西亞ハ一面ニ於テ重稅ヲ取ツテ居ルガ、一面ニ於テハ其納稅者ニ對シテ充分ナル待遇ヲ與ヘテ居ル、露西亞ノ彼得大帝以來國民ノ一番稅ヲ多ク納メタルモノニ向ッテハ、一年一回宮中ニ呼ンデ非常ナラ優遇ヲスルト云フヤウナ有様デアアル、我國ニ於テモ諸君ガ足下ノ事柄ヲ御覽下サレバ分ル、舊幕府時代ニ於テハドウデアッタカ、東京デ家持——其家持ニ對シテハ御能拜見ヲ許シテ居ル、將軍ノ前ニ於テ一日愉快ニ酒ヲ飲ンデ、如何ニ不禮ナルコトヲシテモ其日ハ不禮講ト云フノ御能拜見ヲ許シテ居ル、又各藩ニ於テモ或稅額ヲ收メル者ニ對シテハ、苗字帶刀御免デアルトカ、或ハ五節句ニ於テ正門カラ出入ヲ許ストカイロ、ナコトヲシテ居ル、然ルニ明治政府以來ハドウデアアルカト云フト、納稅者ニ對シテ苛斂誅求ヲスルノミデアアル、是デハ此稅ヲ取ルト云フ根本ノ精神ニ於テ、政府ガ何等慰スル所ガナイデアリマスカラ、是ガ國民トシテレカラ誅求ノ岐ノ所デアアル、我國ニ於テハ稅ト云フモノハ今ノ場合ニ國民ノ貯蓄心ヲ獎勵シ、商工業ノ發展政策ニモ利用シナケレバナラヌデアアルカラシテ大藏大臣竝——内閣總理大臣ハ此點ニ於テ深ク歐羅巴各國就中露西亞ノ有様、日本ノ幕府時代ノコトヲ見テ大ニ留意シナケレバナラヌコトダラウト考ヘル、又我黨ハ稅額ノ上ニ於テ官吏ノ認定權ヲ奪フト云フコトヲ提案シテ居ル、幾ラ諸君ガ御苦心ニナツテ稅率ノコトヲヤカマシク御論ジナツデモ、一方ニ認定權ト云フモノガアツテ、所得稅調查委員ト云フモノガ決定權ガ無カッタナラバ何ニモナラヌ、前門ニ虎ヲ防イテ後門ニ狼ヲ招クヤウナ工合デ何ニモナラヌ、國民ハ自然增收自然增收ト云フノテ始終誅求バカリ喰ツテ居ルノデアアル、ナセ此點ニ於テ御留意ニナラヌデアアルカ、我黨ハ此點ニ於テハ歐羅巴各國ノ先例ニ從ツテ(笑聲起ル)笑フベキコトデハナイ先進國ノ例ヲ學ブデアアル、今日議會モ殆ド英吉利ノ制度ニ依テヤツテ居ルノデアアルカラ、其善良ナルモノヲ採ルノハ當リ前デアアル、イツマデモ官吏ニ壓迫サレテ官吏ニ誅求バカリサレテ喜ンデ居ルノハ奴隸ノ國民デアアル、此點ニ於テハ諸君ハ是非我黨ノ案ニ御贊成ヲ願ヒタイ、政友會ノ諸君ハ戰爭時代ニ非常ナル增稅ヲ爲シ、戰爭ガ終ツテ後ノ位增稅ヲシタカト云フト、石油其他ノ稅ニ於テ尙三千万圓增稅ヲシテ居ル、戰爭前ニ增稅ヲシ戰後ニ於テ三千万圓增稅ヲシテ居ル、故ニ今日所得稅ノ減稅ト云フモノハ三二十年來國民ガ減稅ヲ唱ヘテ居ルトコロノ案デアリマスルカラ、少クトモ其罪障消滅ノタメニ其二分ノ一ノ一千万圓位減稅ヲスルト云フコトハ、最モ至當ナルトコロノ要求ト吾々ハ信ズルデアリマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 笠原忠藏君

(笠原忠藏君登壇)

○笠原忠藏君 我ハ政友俱樂部ヲ代表シマシテ一言本案ニ付キマスル意見ヲ述ベマス、俱樂部ニ於キマシテハ大體委員會ノ修正意見ニ同意デゴザイマス、此理由ニ付キマ

シテハ先程カラシテ屢、述べラレタル所ト同シヤウナ意見デゴザイマスルガ、殊ニ所得稅ニ付キマシテモモウ一層ノ減稅ヲ望ムノデゴザイマスルガ、併ナガラ他ニモ營業稅其他總テ減稅ヲ望ムトコロノ項目モ澤山ゴザイマスルノデゴザイマスルデ、一ツニ此所得稅ノミニ於テ多大ノ減額ヲ致スト云フコトノ甚ダ無理ナルコトヲナニシマシテ(ヒヤ、ヒヤ)「ト呼ビ又「實ニ穩健」ト呼フ者アリ」此增稅ニ屬スル部分ニ付キマシテハ舊法ノ稍、率ニ從フコトニシマシテ、即チ二種ノ所得稅ニ付キマシテハ四百圓ヲ限度ト致シマスコトヲ適當ト認メタ譯デゴザイマス、唯俱樂部トシマシテハ一點同意ノ出來ナイ點ガゴザイマスノデゴザイマス、ソレハ此三條ノ中ノ一ツノ項目デゴザイマス、ソレハ株式會社株式合資會社ニシテ株主又ハ株主及社員ノ二十人以下ヲ以テ組織スル云々ト云フ規定ト、此云々ノ次ノ一條、此點ニ於テハ原案ヲ贊成スル次第デゴザイマス、此理由ハ政府委員ヨリモ説明ガゴザイマシタガ、元來株式會社ト又ハ合名合資會社ノ稅額ニ付テ區別スル程ノ理由ハ餘リナイト思フデアリマス、併ナガラ株式會社ハ零碎ナル資本ヲ以テ成ルコトガ多クモデアリマスカラシテ、此點ヲ觀マシテ多少ノ區別ハ已ムヲ得ナイト思フデアアル、併ナガラ大ナル資本ヲ持チマシテ會社ヲ組織スルト云フ此點ニ於テハ、株式會社ニ於テモ二分ノ一以上ノ出資ヲ一人デスルトカ、或ハ少數ノ人數ヲ以テ株式會社ヲ組織シタルモノニ向ッテハ、合名合資會社同様に見ルノガ當然デアルト思フデアリマス、此點ニ於キマシテハ我ガ俱樂部ハ原案ニ贊成シタ次第デゴザイマス、他ノ點ハ修正ト同様デゴザイマスルカラ、此點ヲ一言シテ置キマス(拍手起ル)

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、先ツ採決ノ方法ニ付テ御諮リヲ致シマス、此修正ハ可ナリ項目ガ多クコトデアアリマスケレドモ、時間ノ少ナイタメニ印刷シテ比較ヲ示スト云フコトマデノ時ガアリマセヌ、ソレデ何某君ノ提案何某君ノ提案ト云フヲ以テ(分ツテ居ル)「ト呼フ者アリ」決ヲ採リタイト思ヒマス、但シ(分ツテ居リマス)「ト呼フ者アリ」故ニ御聽キヲ願ヒマス、兩案ノ中デ同一ノ點ガアリマス、ソレカラ委員長ノ報告ニ兩案トモ同一ノ點アル場合デゴザイマス、デ單ニ此修正案ハ委員長報告ニ反對ノ部分デケラ決ヲ採ルト云フ意味ニ御了解ヲ願フ、ソレカラ同時ニ増田君提出ノ案ト加藤君其他ノ提出ノ案ト同一ノトコロガアル、即チ勤勞ノ所得ヲ一割引クト云フコトニ付テハ兩方同ジデアリマスカラ、其ドチカラノ場合ニ於テ可決スレバ良イケレドモ、若シソレガサウ往カナイ場合ニハ御遺憾モアラウト思ヒマスカラ、此兩方同ジ主張ノ分デケラ取除ケテ、別ニ先ツ採ルト云フ順序ガ一番良クハナイカト思ヒマス(ヒヤ、ヒヤ)「人ノ名前ヲ出シタ案デヤツテ往ケバ宜シイ」默ツテ聞ケ「委員長報告通り願ヒマス」ト呼フ者アリ——案ノ修正額ノ多少ヲ以テ修正ノ草案ニ遠近ヲ計テ見マスルニ、國民黨提出案ガ一番遠イヤウデゴザイマスルカラ、是カラ先キニ決ヲ採リマス、ソレデ前ニ申シマシタヤウナ譯デ勤勞所得ニ就テ分ヲ先キニ採リマスカラ、是デケハドツチカハ缺ケルトイケマセヌカラ左様ニ御承知ヲ願ヒマス——第四條ノ四ト云フモノヲ兩方ニ通シテ採リマスカラ

左様御承知ヲ願ヒマス、第四條ノ四ノ勤勞所得ニ對シテハ、十分ノ二ヲ引クト云フニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數——今度ハ一括シテ増田義一君ノ提案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數——今度ハ加藤君其他ノ御提出ニ係ル案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數——先刻申シマシタ順序デアリマスケレドモ、尙念ノタメニ申シマス、委員長ノ報告同一ノモノハ此場合決テ採ラナカッタ御承知ヲ願ヒマス、即チ大正二年度ヨリ實行スルコト云フコトニ付テハ三派トモ同一デアリマスカラ、今茲ニ少數ト雖モソレハ消エタノデナイ、ソレダケハアルト御承知ナルヤウ申上ゲタノデゴザイマス、委員長ノ修正ヲ採ル……

(石橋爲之助君「本員ノハドウデス」ト呼フ)

○議長(大岡育造君) 前ニ石橋君ノヲ採リマス、石橋君ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、依ッテ委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數

(拍手起ル)

○小泉又次郎君 議長

○議長(大岡育造君) 何デスカ

○小泉又次郎君 採決ニ付テ決議前ニ……

○議長(大岡育造君) 唯今ノ委員長ノ報告通リト云フコトニ、決議前ト云フノデスカ

○小泉又次郎君 決議前ニ御尋シタイコトガアル(「採決ハ濟ンダ」ト呼フ者アリ)ソレハ先刻高橋大藏大臣ヨリ本案ニ對シテ大正二年度ヨリ施行スルコト云フ(「無用々々」ノ聲起ル)コトニ付反對ノ御辯明ガアリマシタガ、大臣ニシテ議員ヲ兼ヌル所ノ松田正久君(此時發言スル者多シ)元田肇君ハ閣議ニ列セラレテ、閣議ハ統一ニ此大正二年度ヨリニ反對デアルト云フ趣意アルノデアリマス(「無用々々」ノ聲起ル)大臣トシテハ今年ヨリ施行スルコトハ反對デアアルガ、議員トシテハ贊成デアルト云フコトデアアルカ、切詰メテ云ヘバ體ガ一ツデ意思ヲ遣ヒ分ケラヌノデスカ、此事ハ將來ニ大關係ノアルコトデアリマスカラ、三君ニ向ッテ御尋ラシテ置クノデアリマス(「無用々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 唯今ノ御尋ハ此採決ニハ何等關係ガナイヤウデアリマス(「ヒヤ」ノ聲起ル)依ッテ多數ニ依リマシテ委員長報告通リ可決シタルコトヲ宣告シマ

ス、二讀會ハ可決致シマシタ
○松田源治君 直チニ三讀會ヲ開キ、二讀會ニ於テ決定セシ如ク可決確定アラシコトヲ希望シマス

(「異議ナシ」答辯ガ先キダ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異存アリマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異存ナシト認メマス、三讀會ハ開カレマシタ

所得稅法中改正法律案(政府提出)

○議長(大岡育造君) 御異存アリマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異存ナケレバ可決確定シタルコトヲ宣告シマス

(拍手起ル)

○小泉又次郎君 是ヨリ答辯ノアルコト、信ジテ居リマスルガ(「答辯ハアリマセヌ」ト呼フ者アリ)高橋大藏大臣ハ大正二年度ヨリ施行スルコトハ反對デアルト言ハレタノハ、即チ閣議ヲ代表シテ御辯明ニナッタト認メラレルガ、此辯明ハ無用ニ歸スルモノト見テ宜シウゴザイマス

○松田源治君 先程私ハ忘レテ居リマシタガ、非常特別稅法案モ一緒ニ議事日程ニ上セテ決テ採ラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御諮リ致シマス——唯今答辯ト云フ聲ガアリマシタガ、此席カラ申シテ置キマスガ、現ニ列席セラレル議員諸君間ノ應答ニ就テ、大臣ニ之ヲ強フルコトハ出來マセヌ、依ッテ松田君カラ斯ウ云フ申出ガアリマス、先刻日程ノ變更ヲ議サレマシタ際ニ、所得稅ト非常特別稅ト兩方ノコトヲ言フ積リデアッタガ、落シタカラ此際加ヘテ置クト云フコトデアリマス、即チ委員長ヨリ非常特別稅法廢止案モ報告ニナッテ居リマスガ、此場合議事ニ上ボシテハ如何デアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告ヲ議題ト致シマス

非常特別稅法廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續

○松田源治君 委員長報告通リ、本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定アラシコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

非常特別稅法廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會(確定議)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス

○松田源治君 此場合尙日程變更ノ緊急動議ヲ提出シマス、第二號明治四十五年大正元年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號明治四十五年大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、ソレカラ第一號、特第一號、追加第一號、此豫算案ノタメニ議事ヲ開クノ動議ヲ提出シ、其次ニハ其豫算ノ議事ガ濟ミシタラ明治四十四年度豫備金支出總計算書、明治四十四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ヲ爲シタル總計算書、明治四十四年度特別會計豫備金支出總計算書、明治四十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ヲ爲シタル總計算書、此案ヲ議事ノ日程ニ上ボセマシテ委員長ノ報告ヲ聴キ、併セテ議事ノ進行ヲ致シタイと思ヒマス

(賛成「下呼」者アリ)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、依ッテ日程ハ變更セラレマシタ奥繁二郎君

(第二號)明治四十五年大正元年度歳入歳出總豫算追加案

(特第二號)大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(第一號)大正元年度歳入歳出總豫算追加案

(特第一號)大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(奥繁二郎君登壇)

○奥繁二郎君 唯今日程變更ノ上議題ニ供サレマシタ五件、即チ明治四十五年大正元年度歳入歳出總豫算追加、明治四十五年大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加、大正元年度歳入歳出總豫算追加、大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件、此五件ニ付キマシテ本日豫算總會ヲ開キマシテ精密ナル審査ヲ遂ゲマシタ、一二ノ方ヨリ此内ノ清國事件費ニ關スル陸軍省海軍省並ニ遞信省特別會計ノ關東都督府ノ請求ニナッテ居リマス豫算ハ、全部否決スルト云フ意見モ出マシタガ、極メテ少數デ、大多數ヲ以チマシテ全部可決致シマシテザイマス、此事ヲ報告致シマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 委員長ノ報告ハ直チニ議題ニナリマシタ

○松田源治君 何カアリマスカ通告ガ……

○議長(大岡育造君) 守屋君カラ通告ガアリマス、守屋君

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君 諸君、唯今議題ニ相成ッテ居リマスル大正元年度歳入歳出總豫算追加ノ中、陸軍省所管第十八款清國事件費金五十六万七千七百七十四圓、ソレカラ海軍省所管第九款清國事件費金四十八万五千五百十六圓、ソレカラ遞信省ノ所管ニ於キマシテ第八款ヤハリ清國事件費、是ガ二万五千七百〇二圓、ソレカラ大正元年度各特別會計歳入歳出豫算追加、大藏省所管ノ關東都督府歳出臨時部第五款清國事件費六万五千二百九十一圓、是ダケノモノニ對シテ私ハ反對ノ意見、之ヲ削除スベシト云フコトノ意見ヲ述ベタイノデアリマス、其譯ハ此豫算ニ要求セラレテ居

ル理由ヲ能ク大臣並ニ政府委員ヨリ聴キマスレバ、清國事件費ト云フノハ何處ニアルト聽イタ、清國ト云フ國ハ世界ノ何處ニアルカト云フコトガ第一ノ問デアッタ、清國ガ亡ビタト云フ事柄ガ事實デアアル、サウシテ支那ト云フ國ガ亞細亞ニアル、此國ニ中華民國ト云フ政府ヲ造ッテ居ル政治家ガ居ルノデアアル(「支那ハ滅亡シタニアラズ」ト呼フ者アリ)ソレデ清國事件費トハ何ゾヤト云フコトヲ聞キマシタ、所ガヤハリ日本帝國政府ハ、清國ト云フ愛親覺羅氏ニ餘程同情アル政府ト見エテ、中華民國政府及其國民ニハ頗ル惡感情ヲ懷カセル字ヲ、遠慮ナク使ッテ居ラレルノガ外務省モ御同意デアアル、サウシテ支那ノ革命騒ギノ爲ニ出シタ軍艦、兵隊、遞信省ノ通信費、關東都督府ノ滿洲ノ兵隊——兵隊デハナイ警察、是ダケノ費用ガ今茲ニ要ルトハ何事ゾヤト、斯ウ私ガ問ヘバ清國ハ未ダ革命動亂ノ時ト同一ノ状態ニ、滿洲ハ依然ト今日アルト云フノガ政府ノ責任アルデアアル、ソレカラ海軍ノ方デハ幾ラカ緩ンダと思フカラ軍艦ハ半分程ニ節シタト云フガ、陸軍ハ節シテ居ラヌデアアル、日本ノ國ノ財政ガ金ガ有リ餘ッテ居ル時ニハ斯様ナ金ヲ使ハル、モノノ手カハ知ラナイガ、大正二年ニ於テハ數千萬圓ノ削減ヲスルト云フ現政府ガ、此追加豫算ハ政府ガ前内閣ガ拵ヘタノヲ其儘踏襲シタノデハナイノデアアル、内閣ガ自己ノ政策ヲ御示シナル抱負ノ一部分デアアル、一葉落チテ天下ノ秋ヲ知ル、斯様ナル財政方針デハ迷モ政府ガ大正元年度ノ豫算ニ對シ、吾々ノ誠ヲ信ゼヨ、眞心ヲ信ゼヨ、數千万圓削減スルト仰シヤッタノニ大ニ疑ガアルノデアアル、清國事件費ト云フノハ支那ノ革命ノ時ノ騒ギガアルカラ、日本ノ居留民ヲ保護スルノデアアルト云フガ、支那人モ餘程智慧ガ殖エテ、自分ノ國ノ騒ノ爲ニ外國人ニ害ハ加ヘナイコトニナッテ居ルノデアアル、革命ノ騒ノ時ノ事實ガ確ニ證據立テ居ル、ソレガ一年以上経ッテ支那ハ先ヅ「常態ニ復シテ居ル、此復シテ居ル其時ニ當ッテ尙陸軍ノ兵ヲ置キ海軍ノ軍艦ヲ出シテ置ク、私ガ此間大正元年度即チ過去リシコロノ追加豫算外務大臣ニ問ウタ時ニ、イロ／＼外務大臣モ御答ガアッタガ、アノ分ハモウ使ッテ居ルカラ仕方ガナイガ、此分ハ今後使フト云フノデアアルカラ、承諾ヲ與フルカ與ヘヌカト云フコトハ吾々議員トシテ職責上研究センケレバナラヌカラ、能ク調ベルト、日本帝國ハ旅順ニ軍港ヲ持ッテ居ルノデアアル、臺灣澎湖島ニ日本ノ軍艦ノ繫リ場ガアルノデアアル(「簡單」ト呼フ者アリ)支那ニ一朝事アルトキニハ(「幾度ヒソナコトヲ言フ」ト呼フ者アリ)幾度モ言ハナケレバ能ク分ラヌ連中ガ多イ、度々言ハナケレバナラヌ、分ルマデ申サネバナラヌ、ソレデアアルカラ一朝事アル日ニハ彼處カラ軍艦ヲ出セバ何ノ差支ガアルカ、ソレカラ又遞信省ノ費用ニ至ッテハ驚アルノデアアル、革命騒ギノ時ニ外國ノ通信ガ輻輳ノ爲メ臨時ノ費用ガ要ルト云フノハ尤モデアアル、今日唯今支那ニ何ノコトガアッデ此追加豫算デ、アレダケノ莫大ノ金ヲ遞信省ニ取ッテ置カネバナラヌ必要ハ何處ニアルカ、又關東都督府ニ至ッテハ最モ驚クベシ、滿洲ニ在ルトコロノ日本帝國ノ七百哩ノ鐵道ノ沿線ガ危險デアアル、ソレ故ニ此警察官ヲ關東都督府ハ一人モ減スコトハ出來ヌ、滿洲ハ革命ノ騒ギノキト危險ハ同一ノ状態ト大膽不敵ニモ言ウタノデアアル、是ハ金ヲ取ルトキノタメニハ言ハレルノデアアルカ、ドウシテ同一ノ状態デアアルカ、決シテ同一ノ状態デハナイ、今日ハ滿洲ハヨリ以上靜肅ニ歸シテ居ルト私ハ信ジテ居ル、又ソレガ事實デアアル、又陸軍ノ守備隊ト云フモノガ出テ居ル、陸軍ノ先生ハ關東都督府ノ人ハ、今日唯今ニ至ルマデモ一年以前ノ革命ノ騒ギト

同一ニ滿洲ガアルト云フコトヲ言ハレテ何ノ顔セガアルカ、陸軍ノ先生ハ何ヲシテ居ルノアルカ、斯様ニ問ヒタクナル、陸軍ハ守備兵ガアル、ソレニモ拘ラズ尙關東都督府デ此費用ヲ要求スルニ至テハ驚入ラザルヲ得ヌ、以上ノ理由デドノ費目ヲ見マシテモ、是ハ何トシテモ眞心ヲ以テ經費節減政策ヲ行フテ國ノ政治ヲ眞心ヲ以テ爲サウト云フ内閣アルナラバ、斯様ナ要求ヲ爲サルト云フコトハナイノデアラウガ、政府ノ外務省、陸軍省、海軍省、關東都督府、斯様ナ所ニ失禮デヤガ統一ガ取レテ居ラヌカラ、私ハ斯様ナ政治ガ來タノデハナイカト思フ、國民ハソレガタメニ空シク斯様ナ費用ノ負擔ヲセネハナラヌガ、之ヲ統一シテ財政上ヨリ之ニ向テ「ノウ」ト云フ一言ヲ言フノハ大藏大臣ノ職責デアアルデアラウガ、大藏大臣ガ之ニ向テ同意ヲスル、斯様ナ杜撰ナ之ニ同意スル大藏大臣ノ手腕デ、ドウシテ此大正二年度ノ豫算ノ中カラ三千七百萬圓ノ西園寺内閣ノ整理ヨリ以上——ヨリ以上諸君ニ向テ政費節減ヲ致シテ御見申スカラ此豫算ヲ通セト云フコトヲ、此壇上デ此間大藏大臣ガ言ハレタ、是ガ決シテ斯様ナ杜撰ナモノ、斯様ナ濫費ヲ御同意ニナル大藏大臣ノ腕デハ、トモ出來ヌト思フ、ソレデアアルカラ此點ニ付テハ外務大臣ノ説明モ、陸軍ノ説明モ、海軍ノ説明モ、關東都督府ノ説明ヨリモ、大藏大臣ハ此壇上ニ於テ國民ガ篤ト承知スルダケノ親切ナル御説明ヲ希望致シマス、私ハ此理由ニ於テ唯今申シタモノハ反對ヲ致シマス（拍手起ル）

○議長（大岡育造君） 採決致シマス、五案トモ同時ニ決ヲ採ルニ御異議アリマセスカ
（異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ）
○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ委員長報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマ
○議長（大岡育造君） 多數、依テ委員長報告通りニ可決致シマシタ
起立者 多數
○議長（大岡育造君） 日程第七……
（拍手起ル）
○議長（大岡育造君） 「マダアル」ト呼フ者アリ
○議長（大岡育造君） 事後承諾ガアリマスカ
（「マダアル」ト呼フ者アリ）
○議長（大岡育造君） 事後承諾ノ委員長ノ報告ヲ希望シマス、渡邊君
（渡邊修君登壇）
○渡邊修君 明治四十四年度豫備金支出ノ承諾ヲ求ムル件外三件ノ報告ヲ致シマ
ス、本案ニ付キマシテハ種々ノ質問應答ガゴザイマシタガ、（早速整爾君ノ聞エマセヌカラ
モウ少シ大キナ聲デ願ヒマス）ト呼フ）本案ニ付キマシテ種々ノ質問應答ガアリマシタガ、其
詳シイコトヲ御紹介致シマスノハ繁雜デアリマスカラ、ソレハ速記録ヲ御承知ヲ願ヒタイ、
尤モ其中ニ「ツバカリ」ト云フ質問ノ要領ヲ申上ゲテ置キマス、是ハ憲法六十四條ノ二
項ニ依テ支出シタモノデアアルカドウカト云フ質問ガゴザイマシタガ、政府ノ答ハ憲法ニ
關係セズシテ是ハ政府ノ責任トシテ、即チ責任支出トシテ責任ノ解除ヲ求ムルノデア
ルト云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ會計法ノ第二十條ニ「各年度ニ於テ歳入ノ剩餘アル
トキハ其翌年度ノ歳入ニ入ルヘシ」ト云フコトガアル、剩餘金ヲ使フト云フコトハ此二十

條ニ抵觸ハシナイカト云フ質問ガアリマシタガ、政府ハソレハ抵觸ハシナイ、又憲法ノ二
十條ハ剩餘金ノ取扱ノ手續ヲ規定シタニ過ギヌノデアラカシテ、抵觸ヲシナイト云フ答
辯デアリマシタ、而シテ討論ニ移リマシテ斯ウ云フ議論ガ出タノデアリマス、豫備金ヨリ支
出スルコトハ承諾ヲ與ヘル、併ナガラ剩餘金カラ支出シタト云フコトハ憲法違反デア
ラシテ、之ニハ承諾ヲ與ヘナイト云フ議論ガ出マシテ、採決ノ結果是ハ少數ヲ消滅
致シマシテ、多數ヲ以テ全部何レモ已ムヲ得ナイ費途デアラカシテ、承諾ヲ與ヘルト云
フコトニ多數ヲ以テ委員會ハ可決ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○早速整爾君 簡單デゴザイマスカラ此席カラテ御申上ゲマス私ハ唯今委員長ノ報
告ノ前半ニハ贊成ヲシタノデアリマスガ、後ノ一半ニハ反對ヲ致シ、此事後承諾ヲ求
ムルノ件ニ付キマシテハ、豫備金支出ヲスルコトハ之ヲ承諾スベシト思ヒマスケレドモ、豫備
金外ノ支出ニ付キマシテハ、承諾ヲ與フベカラズト云フ意見ヲ有ッテ居ルノデアリマス、此
問題ハ毎年議會ニ於テ議論セラレテ居ル問題デアリマシテ、憲法上ノ重大ナル問題トシ
テ既ニ滿場ノ諸君モ能ク此理非ニ付テハ十分御承知ノコトデアアルト思ヒマスカラ、私
ハ極メテ簡單ニ申上ゲルノデアアル、免ニ角豫備金外ノ支出ト云フコトハ、憲法ノ認メザル
所ノ支出ヲ敢テスルモノデアッテ、前記諸君見レバ、洵ニ憲法ノ條章ニ違反ヲシテ居
ルモノト私共ハ認メテ居ルノデアリマス、憲法ノ第六十四條ニ於キマシテ「國家ノ歳入歳
出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ」トアルニ拘ラズ、豫備金外ノ支出ト云
フモノハ帝國議會ノ協贊ヲ經ズシテ政府ガ勝手ニ之ヲ支出シテ居ルノデアアル、即チ殆
豫備金ノ性質ト同ジヤウニ之ヲ見テ、豫備金外ノ支出ナル曖昧ナル名稱ノ下ニ、曖昧
ナル手段ヲ以テ此金ヲ支出シテ居ルノデアリマス、即チ豫備金ガ不足ノ場合ニ徒ラニ我
儘ニ國庫ノ剩餘金ヲ支出シテ居ルト云フ事實ニ相成ッテ居ルノデアアル、即チ議會ノ協贊
ヲ經ザレバ支出スルコトノ出來ナイモノデアアルニモ拘ラズ議會ノ協贊ヲ經ズシテ勝手ニ之ヲ
支出シテ居ルト云フ事實デアリマス、全ク憲法ノ條章ヲ無視シテ居ル、議會ノ協贊權ヲ
蹂躪シテ居ルモノト言ハナケレバナラス、私ハ滿堂ノ諸君ガ、此問題ニ付テハ能ク理非
ヲ御承知ノコト、信ジマスカラ、議論ハ是ニ止メテ置クノデアリマス、唯是マデノ先例ガアル
ト云フコトガ、イツモ議會ニ於テ繰返サレテ居ル所ノ辯明ニナッテ居ル、成程先例ハ幾多
モゴザイマス、併ナガラ憲法ノ條章ニ違反スルコトノ先例ハ最モ惡シキ先例デアアル、議
會ノ協贊權ヲ蹂躪スルコトノ先例ハ、吾々憲法上之ヲ踏襲スベカラザルトコロノ先例
デアリマスカラ、先例ガ如何様ニアラウトモ、從來ノ歴史ガ如何ヤウニアラウトモ、此問題
ハ憲法上一日モ早ク之ヲ解決スベキ必要ガアルト云フコトヲ確信シテ居リマス、國民ノ
輿論ヲ重ズルノ政府、重ズルト稱スルコトノ政府、立憲的行動ヲ執ルト云フ政府、
此政府ニ對シテ將來ニ於キマシテハ此一大惡例ト云フモノヲ排除シテ戴キタイト思フノ
デアアル、即チ今日此事後承諾ノ案件ニ對シマシテ、承諾ヲ與フベカラズト云フ議論ヲ致
シマスル所以ハ、將來此例改メテ立憲ニ憲法ノ條章ニ基キ、會計法ノ規定ニ觸レ
ナイヤウニ、總テ此豫算ノ實行ト云フコトヲ確實ニ致シタイト云フ意見ノ下ニ、斷ジテ此
豫備金外ノ支出ニ對シテハ、即チ國庫ノ剩餘金ヲ我儘勝手ニ支出スルト云フコトニ
對シマシテハ、承諾ヲ與フベカラズト云フ意見ヲ有ッテ居ルノデアリマス

○松田源治君 私も簡單ニ此席カラ反對シテ置キマス、本問題ハ毎年ノ議會ニ現ハ
○松田源治君 明治四十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案外四件 二四九

レル問題アリマシテ、現政府ハ吾ミト同様ノ解釋ヲ今日執リマス、今マデノ政府デハ之ヲ憲法第六十四條ノ第二項ニ依ッテ提出シタモノデアッテ、憲法上適法ナル所爲ト稱シテ居ッダノデアリマス、又議會ニ於キマシテハ二議會デアリマシタカ、二議會デアリマシタカ、之ヲ憲法違反ナリトシテ論斷シタコトガアリマス、政府ハ憲法六十四條ノ二項ニ依ルト云フコトヲ申シマスケレドモ、今マデノ政府ハ是ハ憲法六十九條ヲ見マスレバ、憲法六十四條ノ二項ハ豫備金ニ限ラレタル支出ヲ事後承諾ノタメニ求ムルト云フコトハ、一點ノ疑ヲ容レナイノデゴザイマス、而シテ今マデ議會ハ如何ナル慣例ヲ以テ之ニ事後承諾ヲ與ヘタカト申シマシタナラバ、憲法ノ認メザル行爲デアル、憲法ノ認メザル行爲デアルケレドモ、豫備金ノ金ガ少ナイカラト云ッテ國家ノ行政ノ機關ハ運轉ヲ止メルコトハ出來ヌカラ、臨時緊急已ムヲ得ザル支出ガアルカラ、此場合ハ憲法ノ認メザル行爲ヲ政府ハ責任ヲ以テ剩餘金ヲ支出シテ議會ニ提出スルモノナリトシテ、其内容ノ善惡ヲ見、内容ヲ審査シテ内容ノ適當ナルモノヲ承諾ヲ與ヘテ居ルノガ、今日マデ十數回ノ慣例ニナッテ居ルノデアリマス、吾ミモ此問題ガ最初ニ出タナラバ、或ハ憲法違反ナリト云フコトヲ申シマスケレドモ、今日ハ既ニ十數回此議會ハ責任ヲ支出トシテ、内容ヲ審査シテ、内容ノ當否ニ依ッテ承諾ヲ與ヘ亦承諾ヲ與ヘナイヤウニナッテ居リマスカラ、此慣例ハ憲法ヲ運用スルコトノ妙用ヲ得タルモノト本員ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ現政府ハ吾ミト同一ノ意見ヲ執リマシテ、憲法六十四條ノ第二項ニ依ッテ支出シタルモノニアラズシテ、憲法ノ認メザル行爲ヲ爲シタ、即チ責任ヲ支出ヲ爲シタルデアルカラ、其責任解除ノ爲ニ提出シタルコトヲ言明シタル以上ハ、吾ミモ意見ト是ハ符合致シマシテ、本問題ハ殆ド解決サレタト云ッテモ差支ナイト思フノデゴザイマス、吾ミハ此政府ノ明言、今マデ十數回ノ慣例ニ依リマシテ憲法運用ノ妙ヲ得タルタメニ、政府ガ憲法ニ認メザル行爲ヲ斷然シタ、即チ責任ヲ支出デアルト云フコトノ解釋ヲ執リマシテ、其内容ヲ慎重ニ審議シテ適法ナルモノト認メマシタカラ、承諾ヲ與ヘタノデゴザイマスカラ、滿場諸君ハ之ニ向ッテ承諾ヲ與ヘラレムコトヲ本員ハ希望致シテ置キマス(贊成)又「明瞭デアル」ト呼フ者アリ

○大口喜六君 此際私ハ多ク言ハナイデアリマスルガ、本問題ニ對シマシテハ、全ク早速君ノ述べラレタル意見ト同意見ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ言明シテ置キマス

○議長(大岡育造君) 委員長報告ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、依ッテ委員長報告通りニ確定致シマシタ、日程第七、關稅定率法中改正法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス

○松田源治君 本日ハ是テ延期致シタウデゴザイマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 本日ハ延期スルト云フコトノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本日ハ延期スルコトニ決シテ、明日ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知シマス、本日ハ是テ散會致シマス

午後四時四十三分散會